

平成 26 年 (2014 年) 御嶽山噴火非常災害対策本部第 7 回本部会議
台風第 18 号に係る関係省庁災害警戒会議 (第 2 回)
合同会議

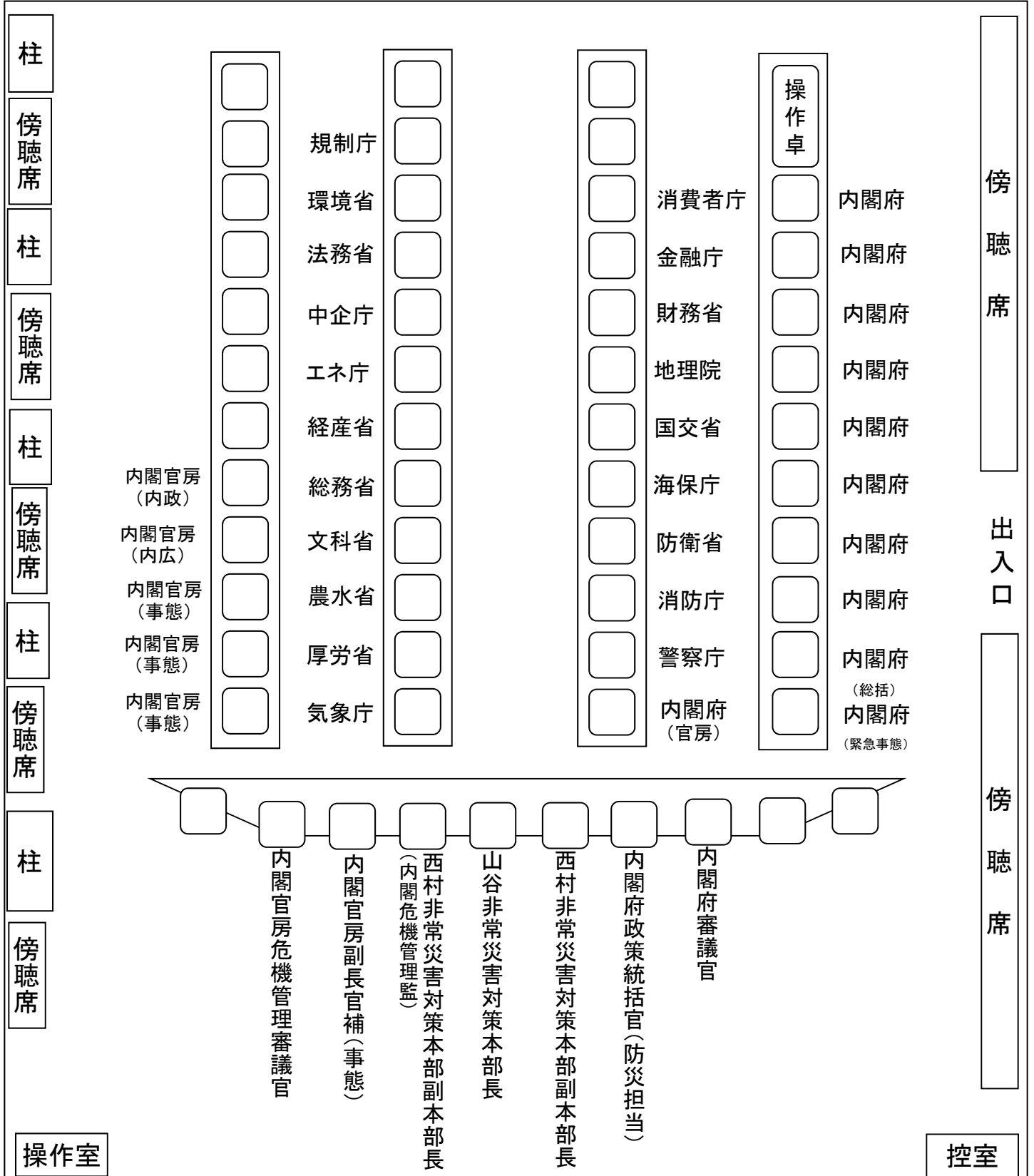
議 事 次 第

日時：平成 26 年 10 月 5 日 (日) 16:30～
場所：合同庁舎 8 号館 3 階災害対策本部会議室

1. 山谷非常災害対策本部長 挨拶
2. 非常災害現地対策本部からの報告
3. 今後の噴火活動及び台風第 18 号の見通しについて
4. 被害状況及び各省庁の対応状況について
5. その他

平成26年(2014年)御嶽山噴火非常災害対策本部第7回本部会議 台風第18号に係る関係省庁災害警戒会議(第2回) 合同会議 配席図

平成26年10月5日(日)16:30~
中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室



台風第 18 号の接近に伴う大雨や強風への対応についての
内閣府特命担当大臣（防災）から国民への呼びかけ

- 1 現在、台風第 18 号の接近と前線の影響に伴い、台風近くだけでなく、台風から離れた場所も含め、明日（6 日）にかけて、西日本から北日本の広い範囲で大雨や暴風に厳重な警戒が必要です。
- 2 雨がいつどこでどれ位降るか、土砂災害がいつどこで起こるかを、正確に予測することは、困難です。
ですから、警報や土砂災害警戒情報が発表された時には、避難勧告が出なくても、もし、避難をした方がいいのではないかと自分で判断すれば、躊躇せずに避難をして下さい。
- 3 夜間や暴風・大雨時に外へ出て避難することが危険な場合は、屋内でも上階の斜面の反対側に待避してください。
- 4 不用な外出は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようにするとともに、台風の通過後も暴風や高波の影響がありますので十分な注意をお願いします。

御嶽山の噴火状況等について

平成26年10月5日
15時00分現在
気象庁

1. 火山活動の状況(10月5日15時現在)

- ・御嶽山では、本年9月10日から11日にかけて体に感じない微小な火山性地震が一時的に増加したものの、その後火山性地震は減少していた。
- ・9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測したため、噴火警戒レベル3(入山規制)を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。噴火は現在も継続している。
- ・御嶽山で噴火が発生したのは平成19年(2007年)3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・9月28日中部地方整備局の協力を実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂付近に北西から南東方向に伸びる火口列が見られ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく火口上1000メートルまで上昇するのが認められ、ときおり火山灰交じりの薄灰色の噴煙が認められた。
- ・火山性微動は10月1日に入って振幅が徐々に小さくなり、10月1日19時頃からは検知できない程度の大きさになっていた。10月2日19時30分頃から再び観測されており、振幅は小さいながらも継続している(10月5日15時現在)。
- ・御嶽山の南東約3キロメートルに設置している傾斜計に、10月4日13時頃から、わずかな山側上がりの変化がみられたが、10月5日8時頃から横ばいの状態となっている。噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると、変動開始から現在までの変動の大きさは100分の1程度である。
- ・10月5日3時には噴煙が火口縁上300mまで上がっていた。これ以降は視界不良により噴煙の高さを確認することができず、10月5日15時現在、噴煙の高さは不明である。

2. 気象の見通し(10月5日15時現在)

- ・御嶽山の山頂付近は、今日5日15時現在、13メートル程度の南の風が吹いていると見られる。今夜は南の風20メートル程度、明日は北東の風10メートル程度で昼過ぎからは東の風15メートル程度の見込み。
- ・御嶽山周辺の天気は、今日から明日にかけ、前線や台風の影響で、雨や風が強まる見込み。

明日昼までに予想される雨量は、多いところで160ミリの見込み。その後、明後日昼までに予想される雨量はおよそ10ミリ。

3. 気象庁の対応状況(10月5日15時現在)

- ・御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- ・噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地方気象台より適宜実施。
- ・気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日13時55分~23時頃、気象庁:9月27日15時40分~)
- ・降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を適時に実施(9月27日~)
- ・火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
- ・御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。
- ・長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日~)
- ・長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(9月28日5時~1日2回、10月1日5時~1日3回の提供)
- ・国土交通省中部地方整備局のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)
- ・陸上自衛隊のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)
- ・気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日~)
- ・火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、統一見解を公表(9月28日)
- ・政府の現地対策本部に東京管区気象台気象防災部長他3名を派遣(9月28日~)
- ・王滝大又(長野県木曾郡王滝村)に臨時雨量観測所を設置(10月3日)

【噴火警報等の発表状況】

9月11日 ~ 16日 火山の状況に関する解説情報を3回発表し、火山性地震が増加していること、今後の火山活動の推移に注意することを呼びかけた

9月27日12時00分 ~ 噴火に関する観測報を随時発表し噴火が発生していることを知らせる

9月27日12時02分 ~ 航空路火山灰情報を発表し、航空機に対する情報を提供

9月27日12時36分 噴火警報(火口周辺警報)を発表し、周辺の市町村・住民に警戒を呼びかける

9月27日13時35分 ~ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示

9月27日16時～火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表

9月28日19時30分 噴火警報(火口周辺警報)を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

- ・噴火警戒レベル：レベル3（入山規制）
御嶽山の噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。
- ・警戒対象市町村
 - 長野県：王滝村、木曽町
 - 岐阜県：高山市、下呂市
- ・防災上の警戒事項
 - 火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒が必要
 - 風下側では4キロメートル以遠も含めて降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
 - 爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

御嶽山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

< 噴火警戒レベル 3（入山規制）が継続 >

御嶽山では、火山灰を噴出するような噴火が継続しているものと推定され、引き続き火山活動は高まった状態で推移しています。

9 月 27 日の噴火前から連続して発生している火山性微動は、振幅の増減を繰り返しながら継続していましたが、10 月 1 日に入って徐々に小さくなり、19 時頃からは検知できない程度の大きさになりました。10 月 2 日 19 時 30 分頃から再び観測されており、振幅は小さいながらも継続しています。

【防災上の警戒事項等】

御嶽山では、火口から 4 km 程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性ありますので注意してください。

活動状況

・微動の発生状況（図 1）

噴火発生の 11 分前の 9 月 27 日 11 時 41 分頃から連続して発生していた火山性微動は、9 月 29 日 19 時 20 分頃から 9 月 30 日 01 時 15 分頃にかけて一時的に振幅が大きくなった後、9 月 30 日 06 時 12 分頃から再びやや大きくなるなど、振幅の増減を繰り返していました。10 月 1 日に入ってから徐々に振幅が小さくなり、13 時頃からは 9 月 29 日 19 時 20 分以前の状態に戻りました。さらに、10 月 1 日 19 時頃からは検知できない程度の大きさになりました。その後、10 月 2 日 19 時 30 分頃から再び観測されており、振幅は小さいながらも継続しています。

噴煙の高さは 15 時 30 分現在、視界不良のため不明です。

現地調査を行っている気象庁機動調査班（JMA-MOT）によると、本日（5 日）12 時 30 分頃、剣ヶ峰の北 6 km 付近の山麓でわずかに降灰があったとの報告があったことから、火山灰を噴出するような噴火は継続しているものと推定されます。

火山性微動の振幅の増減は、山頂付近浅部での火山活動の消長を表しているものと考えられますが、火山性微動の振幅が小さくなったことが必ずしも火山活動の低下を表すものではありません。

・地殻変動の状況（図 2）

御嶽山の南東約 3 km に設置している傾斜計に、昨日（4 日）13 時頃から、わずかな山側上がりの変化がみられましたが、本日（5 日）08 時頃から横ばいの状態となっています。変動開始から現在までの変動の大きさは、噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると 100 分の 1 程度です。

GNSS¹⁾などの観測データに特段の変化はみられません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

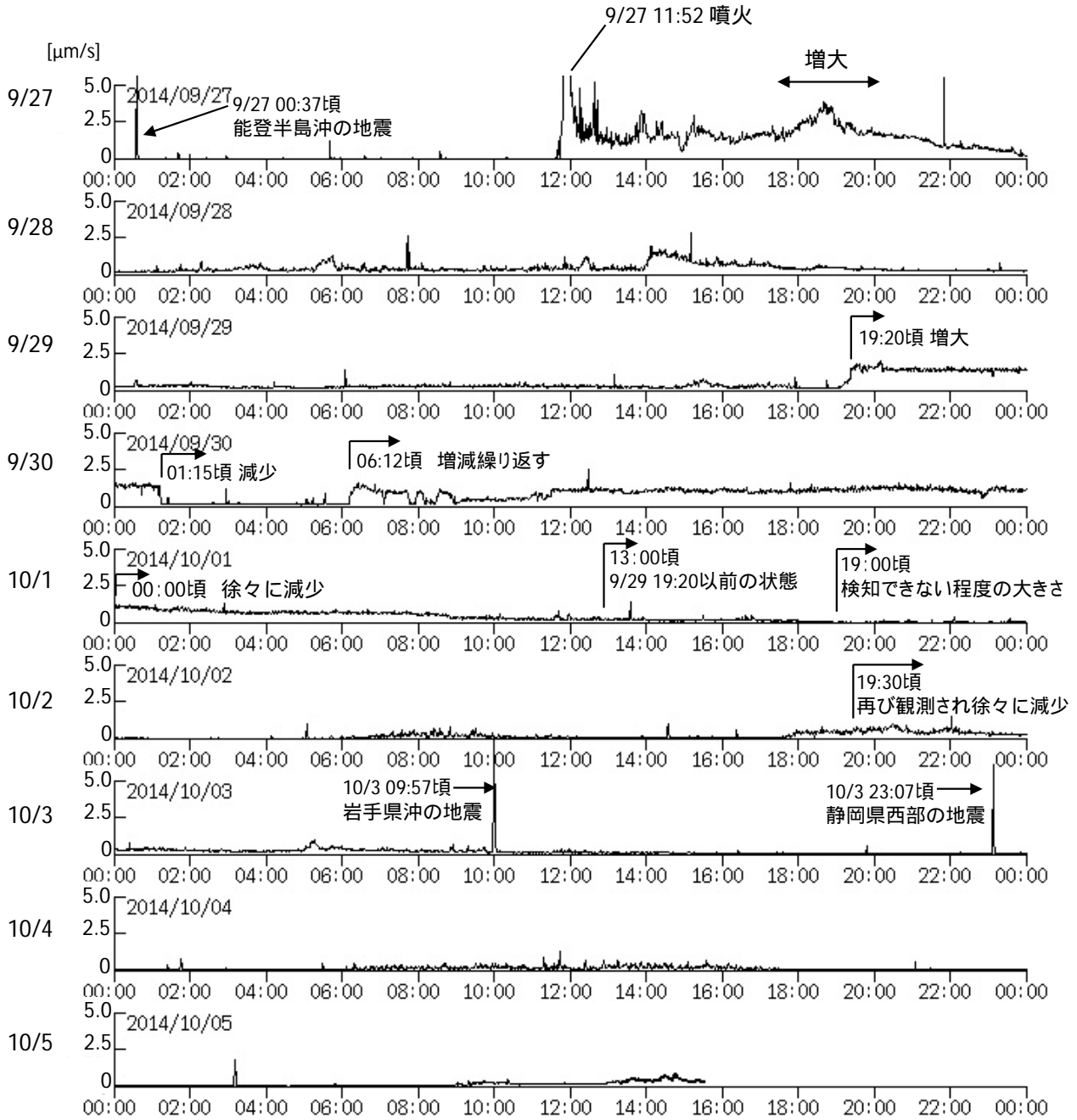
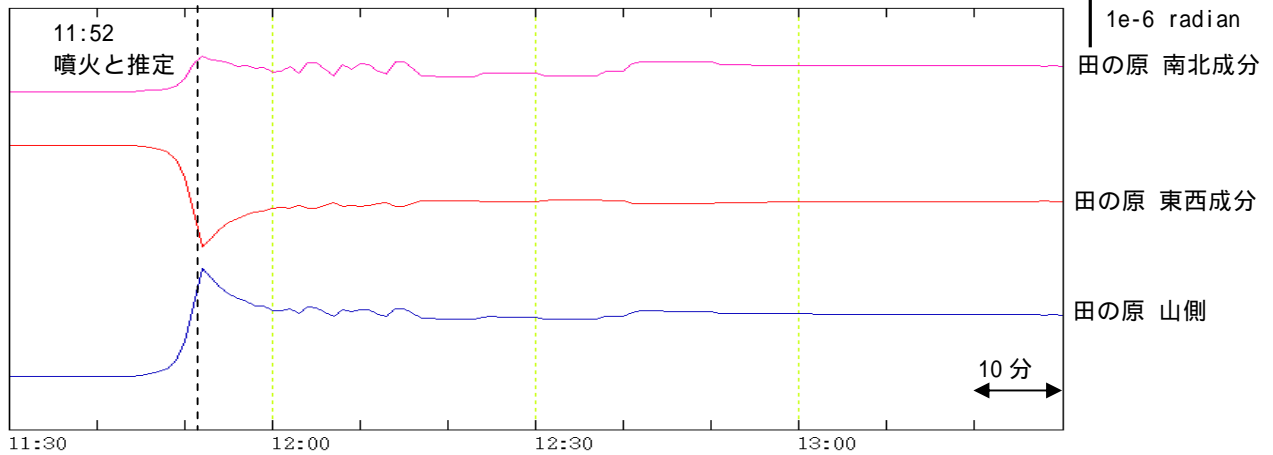


図 1 御嶽山 田の原上観測点(剣ヶ峰南東約 2 km)の上下動地震波形の 1 分間振幅平均値の推移
(2014 年 9 月 27 日 00 時 ~ 10 月 5 日 15 時 30 分)

- ・連続して発生している火山性微動は、増減を繰り返して継続していましたが、10 月 1 日 19 時頃からは検知できない程度の大きさになりました。その後、10 月 2 日 19 時 30 分頃から再び観測されており、振幅は小さいながらも継続しています。

田の原観測点の傾斜データ（分値）

【噴火時の変化】9/27 11:30 - 13:30



【昨日（4日）以降の変化】10/3 10:00 - 10/5 13:30 縦軸を100倍に拡大

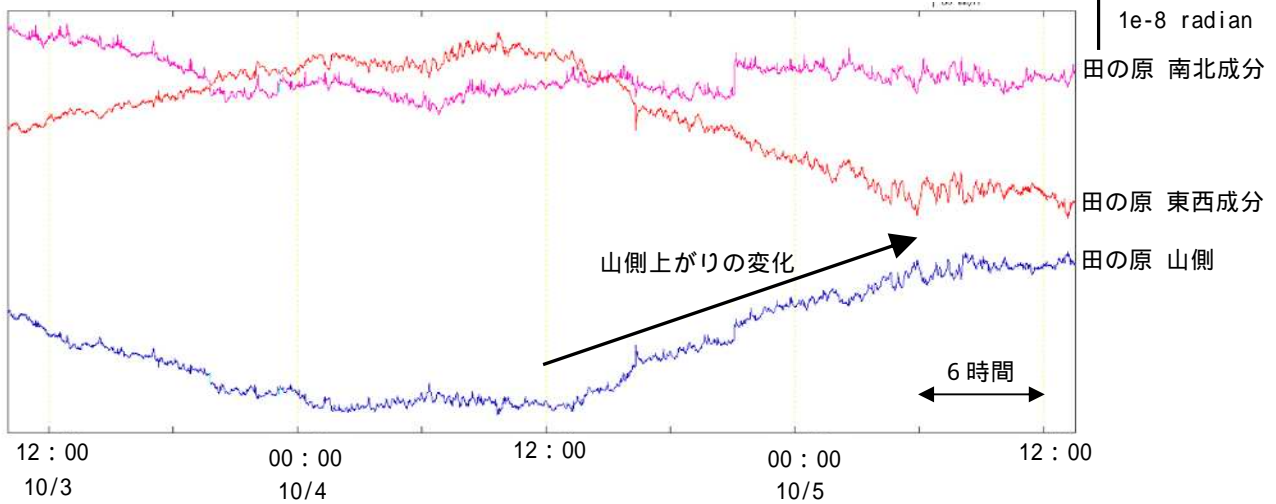
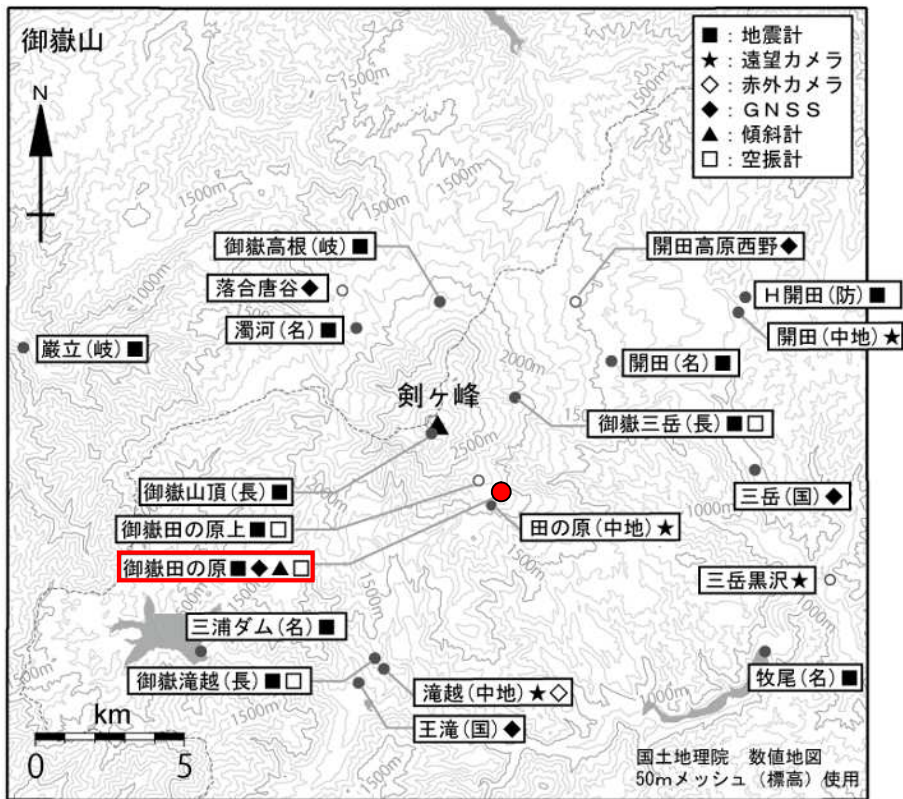


図2 御嶽山 田の原観測点（剣ヶ峰南東約3km）の傾斜変動

- ・御嶽山の南東約3kmに設置している傾斜計に、昨日（4日）13時頃から、わずかな山側上りの変化がみられましたが、本日（5日）08時頃から横ばいの状態となっています。変動開始から現在までの変動の大きさは、噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると100分の1程度です。
- ・田の原 山側は、各成分の山方向の成分を合成したものです。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(中地) : 中部地方整備局、(防) : 防災科学技術研究所、(名) : 名古屋大学、
 (長) : 長野県、(岐) : 岐阜県

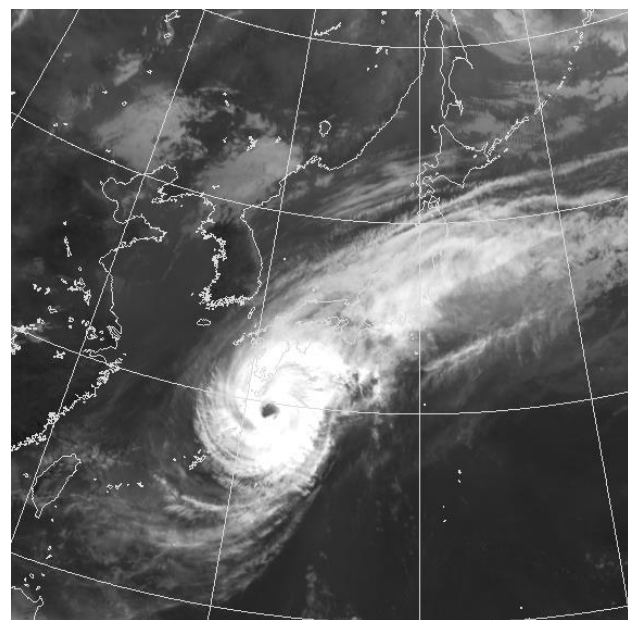
図3 御嶽山 観測点配置図
 赤丸と赤枠は傾斜計を設置した田の原観測点です

台風第18号について

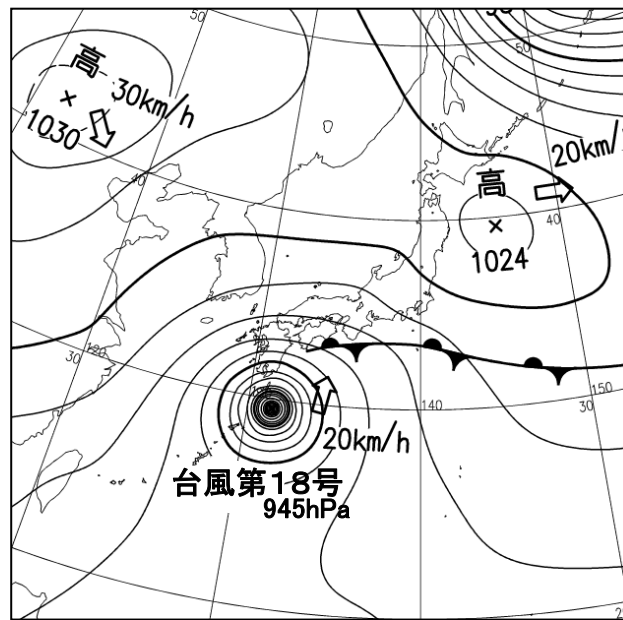
1-2 気象庁

平成26年10月5日15時現在

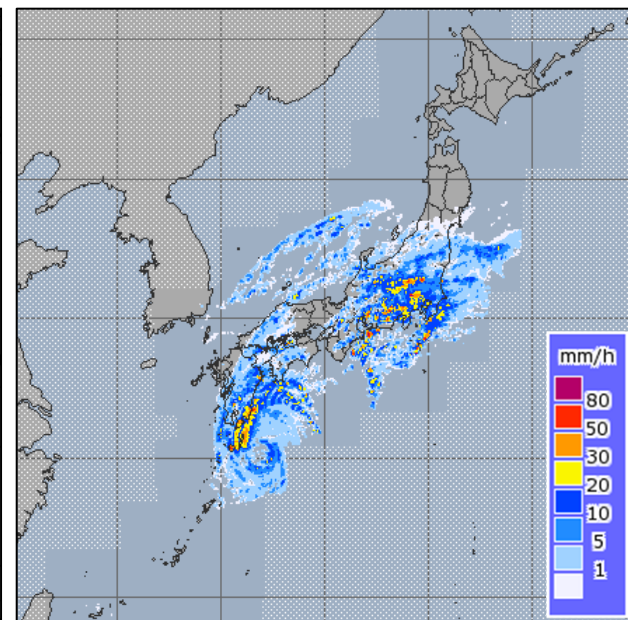
- 台風第18号は、今日(5日)14時現在、大型で強い勢力で九州の南海上を北上中。今後、向きを北東に変え、今夜には四国沖へ進み、明日(6日)は本州太平洋側に接近・上陸のおそれ。
- 台風の接近に伴い、西日本から東日本にかけて、大雨とともに、猛烈な風、猛烈なしけ。台風から離れたところでも、大雨や竜巻などの突風のおそれ。土砂災害、洪水、低い土地の浸水、暴風、高波に警戒。潮位の高い期間でもあり、進路にあたる湾・沿岸では高潮に警戒。
- 御嶽山周辺では、今日から明日にかけて、前線や台風の影響で、雨や風が強まる見込み。



衛星画像(赤外) 10月5日12時



地上天気図 10月5日12時



レーダー降水強度 10月5日15時

台風第18号の進路予報

台風第18号 (ファンフォン) 平成26年10月05日 14時45分 発表

平成26年10月5日 14時

7日 09時

6日 12時

6日 00時

25m/s以上の暴風域

15m/s以上の強風域

暴風警戒域

予報円

<05日14時の実況>	
大きさ	大型
強さ	強い
存在地域	種子島の南東約100km
中心位置	北緯 29度55分(29.9度) 東経 131度40分(131.7度)
進行方向、速さ	北 20km/h
中心気圧	945hPa
中心付近の最大風速	40m/s
最大瞬間風速	60m/s
25m/s以上の暴風域	全域 190km
15m/s以上の強風域	北側 600km 南側 440km
<06日00時の予報>	
強さ	強い
存在地域	室戸岬の南約160km
予報円の中心	北緯 31度55分(31.9度) 東経 134度00分(134.0度)
進行方向、速さ	北東 30km/h
中心気圧	950hPa
中心付近の最大風速	40m/s
最大瞬間風速	60m/s
予報円の半径	90km
暴風警戒域	南東側 280km 北西側 260km
<06日12時の予報>	
強さ	強い
存在地域	関東地方
予報円の中心	北緯 36度05分(36.1度) 東経 140度10分(140.2度)
進行方向、速さ	北東 55km/h
中心気圧	965hPa
最大風速	35m/s
最大瞬間風速	50m/s
予報円の半径	160km
暴風警戒域	南東側 330km 北西側 300km
<07日09時の予報>	
強さ	- 温帯低気圧
存在地域	日本のるか東
予報円の中心	北緯 40度50分(40.8度) 東経 156度30分(156.5度)
進行方向、速さ	東北東 70km/h
中心気圧	980hPa
最大風速	30m/s
最大瞬間風速	45m/s
予報円の半径	390km
暴風警戒域	南東側 560km 北西側 540km

雨、風、波の予想

■雨

6日(月)12時までの24時間に予想される雨量は、多いところで、

東海地方	500ミリ
近畿地方	400ミリ
四国地方	350ミリ
関東甲信地方	300ミリ
九州南部、中国地方、伊豆諸島	200ミリ
九州北部地方、北陸地方、東北地方	120から160ミリ

6日(月)12時から7日(火)12時までの24時間に予想される雨量は、多いところで、
中国地方、近畿地方、北陸地方、東北地方 50から100ミリ

■風

6日(月)にかけて予想される最大風速(最大瞬間風速)は、

九州南部	40メートル(60メートル)
近畿地方、東海地方、伊豆諸島	35メートル(50メートル)
四国地方、関東甲信地方	30メートル(45メートル)
奄美地方、九州北部地方、中国地方、東北地方	23から25メートル(35メートル)

■波


6日(月)にかけて予想される波の高さは

伊豆諸島	11メートル
九州南部、近畿地方、関東地方	10メートル
四国地方、東海地方	9メートル
奄美地方	8メートル
沖縄地方、九州北部地方、東北地方	7メートル

雨・風・波に警戒を要する期間

	5日			6日		
	朝	昼	夜	朝	昼	夜
九州南部・奄美	大雨・洪水					
四国	暴風			高波		
近畿	大雨・洪水			暴風		
東海	大雨・洪水			暴風		
北陸				大雨・洪水		
関東甲信 (伊豆諸島を含む)	大雨・洪水			暴風		
東北				大雨・洪水		

警戒期間は、台風の数
や進路によって大きく変
わります。
最新の気象情報を利用し
てください。

◎大雨・洪水: 

◎暴風: 

◎高波: 

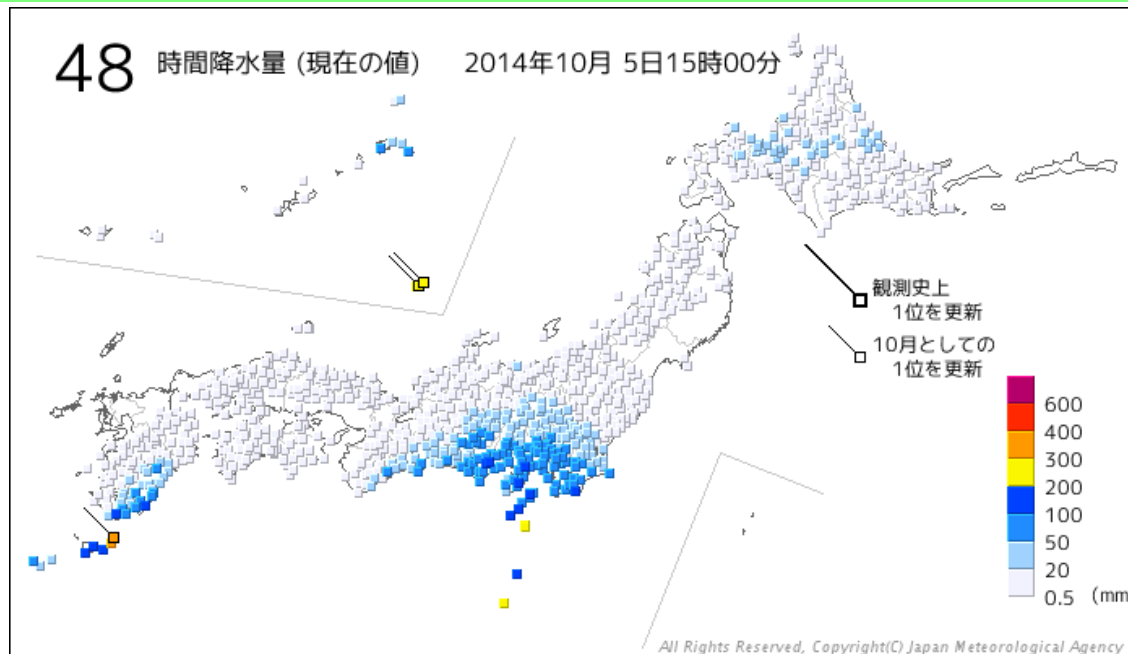
◎高潮: 

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象警報・注意報: <http://www.ima.go.jp/jp/warn/>)

(各地の気象情報: <http://www.ima.go.jp/jp/kishojocho/>)

降水の状況



48時間降水量 現在の値(5mm以上のみ) 15時00分現在

順位	都道府県	地点	観測値	昨日までの 観測史上1位の値		昨日までの 10月の1位の値		統計開始年	備考
			mm	mm	年月日	mm	年月日		
1	鹿児島県	種子島*	315.5	585	1997/09/16	288	1996/10/01	1976年	(10月の1位の値を更新)
2	鹿児島県	中種子	312.5	385.5	2011/05/29	237.5	2012/10/01	2006年	
3	東京都	三宅坪田	283.0	427	2007/10/27	427	2007/10/27	2000年	
4	東京都	三宅島*	260.0	458	2007/10/28	458	2007/10/28	1976年	
5	沖縄県	北大東	247.0	334.0	2011/09/20	223.5	2013/10/25	2003年	(10月の1位の値を更新)
6	沖縄県	旧東	234.5	353.5	2011/09/20	226.0	2009/10/08	2003年	(10月の1位の値を更新)
7	沖縄県	南大東(南大東島)*	225.5	397	1996/09/21	290.0	2010/10/27	1979年	
8	東京都	青ヶ島	216.0	207.0	2014/09/09			2014年	
9	鹿児島県	尾之間	198.5	467	2001/04/30	271	2004/10/31	1976年	
10	鹿児島県	屋久島*	188.0	539	1997/09/16	292.5	2012/10/01	1976年	

風の状況

10月5日15時現在

日最大風速

順位	都道府県	地点	観測値			昨日までの 観測史上1位の値			昨日までの 10月の1位の値			統計開始年	備考
			m/s	風向	時分	m/s	風向	年月日	m/s	風向	年月日		
1	鹿児島県	屋久島*	31.7	北	12:57	50.2	東北東	1964/09/24	34.4	西南西	1951/10/14	1937年	
2	鹿児島県	喜界島	29.9	北北西	04:00	36	西北西	2005/09/05	29.7	北北西	2009/10/07	2000年	(10月の1位の値を更新)
3	鹿児島県	笠利	27.6	北	05:05	32.0	北	2012/09/29	26.8	北	2009/10/07	2003年	(10月の1位の値を更新)
4	鹿児島県	種子島*	26.7	北北東	13:46	42.5	西南西	1964/09/24	36.4	南	1951/10/14	1948年	
5	長崎県	雲仙岳*	23.1	東北東	14:57	60.0	東南東	1942/08/27	42.0	北東	1939/10/16	1924年	
6	鹿児島県	天城	22.3	北北西	02:09	41.9	北北西	2012/09/29	22	西北西	2004/10/20	2003年	(10月の1位の値を更新)
7	沖縄県	南大東(南大東島)*	22.2	西南西	00:13	43.5	南南東	1958/09/15	39.8	北東	1961/10/02	1947年	
8	鹿児島県	沖永良部*	22.1	北北西	00:12	41.4	北北西	2012/09/29	34.9	東	2013/10/07	1969年	
9	宮崎県	赤江	21.4	北北東	14:09	31	南東	2004/08/30	24	北東	2004/10/20	2003年	
10	鹿児島県	尾之間	20.5	北北東	10:26	32	東	1996/07/18	22	西南西	1998/10/17	1977年	
〃	鹿児島県	名瀬*	20.5	北北西	07:00	33.7	北	1964/09/24	29.5	北	1924/10/06	1896年	

日最大瞬間風速

順位	都道府県	地点	観測値			昨日までの 観測史上1位の値			昨日までの 10月の1位の値			統計開始年	備考
			m/s	風向	時分	m/s	風向	年月日	m/s	風向	年月日		
1	鹿児島県	屋久島*	43.7	北	12:56	68.5	東北東	1964/09/24	54.2	南南西	1951/10/14	1937年	
2	鹿児島県	種子島*	43.4	北	14:01	60.0	南西	1989/09/19	42.1	北西	1980/10/14	1949年	(10月の1位の値を更新)
3	鹿児島県	尾之間	42.6	東北東	11:33	39.3	北北東	2009/10/07	39.3	北北東	2009/10/07	2009年	
4	鹿児島県	喜界島	42.2	北北西	05:45	52.5	北北西	2012/09/29	40.1	北	2009/10/07	2009年	
5	鹿児島県	笠利	39.1	北	02:45	44.2	北	2012/09/29	36.5	北	2009/10/07	2009年	
6	鹿児島県	名瀬*	35.2	北北西	06:46	78.9	東南東	1970/08/13	45.2	北	2001/10/17	1937年	
7	長崎県	雲仙岳*	32.7	北東	14:53	63.7	北	2004/10/20	63.7	北	2004/10/20	1938年	
8	鹿児島県	中之島	32.2	北東	13:45	32.2	南東	2012/08/27	22.8	北東	2009/10/06	2009年	
9	沖縄県	南大東(南大東島)*	31.4	西南西	00:51	65.4	北東	1961/10/02	65.4	北東	1961/10/02	1947年	
10	鹿児島県	天城	30.3	北北西	04:06	52.0	北北西	2012/09/29	35.5	東	2013/10/07	2009年	

気象支援資料(広島県広島市)

広島市安佐北区・安佐南区付近の気象予想について(第92報)

平成26年10月5日7時00分

広島地方気象台 発表

広島市安佐北区・安佐南区の天気概況

5日は、台風の北上に伴い、断続的に雨が降るでしょう。
6日は、台風の影響で明け方まで雨が降る見込みです。

5日昼前から6日昼過ぎまで、強風注意報を発表しています。
6日にかけて、大雨注意報を発表する可能性は低いです。

広島市安佐北区・安佐南区付近の時系列予報

時間(h)	5日(日曜日)						6日(月曜日)		
	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09
天気	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	曇
降水確率(%)	60		60		70		50		20
雨量(ミリ) (1時間最大)	2	3	3	5	5	10	5	3	0
気温(℃)	18	19	21	20	20	20	20	20	20
大雨警報・注意報 基準超過の可能性									

24時間雨量(5日06時~6日06時) 平均:20ミリ 最大:40ミリ

地域内で予想される24時間雨量の平均値と最大値

- 表の見方
- ・天気:対応する時間帯(00-03は午前0時から午前3時まで)の卓越した天気
 - ・降水確率:対応する時間帯の1ミリ以上の雨の降る確率
 - ・雨量:対応する時間帯の中で予想される地域内の最大1時間雨量
(0ミリを予想していても、弱い雨の降る可能性があります)
 - ・気温:時間帯の後ろの数字に該当する時刻の気温(06-09の場合09時の気温)
 - ・警報・注意報基準超過の可能性:大雨警報を●印、大雨注意報を▲印
(警報・注意報の発表は基準を超える現象が発生するまでの時間を考慮し、これより早くなる場合があります)

広島県南部の今後一週間の見通し(上記の予報とは範囲が異なることに留意)

日付	6月	7火	8水	9木	10金	11土	
天気	曇一時雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	曇時々晴	
降水確率(%)	50/20/20/10	20	10	10	20	20	
広島	最高(℃)	24	24 (22~25)	25 (23~27)	26 (23~28)	26 (24~28)	25 (23~28)
	最低(℃)	20	15 (13~17)	15 (13~16)	16 (14~18)	17 (15~19)	17 (15~20)

本資料は、被災地域を支援するための気象予想資料です。毎日7時頃、17時頃に発表します。気象状況は刻々と変化しますので、常に最新の気象情報をご利用下さい。

問い合わせ先
広島地方気象台 観測予報課
電話 082-223-3951

気象支援資料(長野県王滝村)

復旧担当者・被災者向け気象支援資料(長野県王滝村)

平成26年10月5日 11時00分

御嶽山頂付近(高度約3000m)の風の予想

時	5日					6日			
	12時	15時	18時	21時	24時	3時	6時	9時	12時
風向	南南西	南南西	南南西	南西	南南西	南	南南東	東北東	西北西
風速(m/s)	13	20	19	12	25	23	23	13	17

風向 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

長野県の天気解説

5日は、前線が北上する見込みです。
このため、雨で、雷を伴って激しく降る所があるでしょう。

<天気変化等の留意点>

御嶽山周辺(長野県側) 5日12時から6日12時までの24時間に予想される雨量
160ミリ 6日12時から7日12時までの24時間に予想される雨量 およそ10ミ
リの見込みです。
今後の気象情報等に留意してください。

王滝村付近の天気

日 / 気温	5日 / 日中の最高14℃				6日 / 朝の最低12℃			
時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時
天気								
3時間雨量(ミリ)	10以上	10以上	5~9	5~9	10以上	10以上	10以上	10以上
気温(℃)	10	10	11	12	13	14	14	13
風向	↓	↓	↓	↓	↙	↓	↓	↑
風速(m/s)	4	4	3	2	1	4	7	3

風向 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

復旧担当者・被災者向け気象支援資料(長野県王滝村)

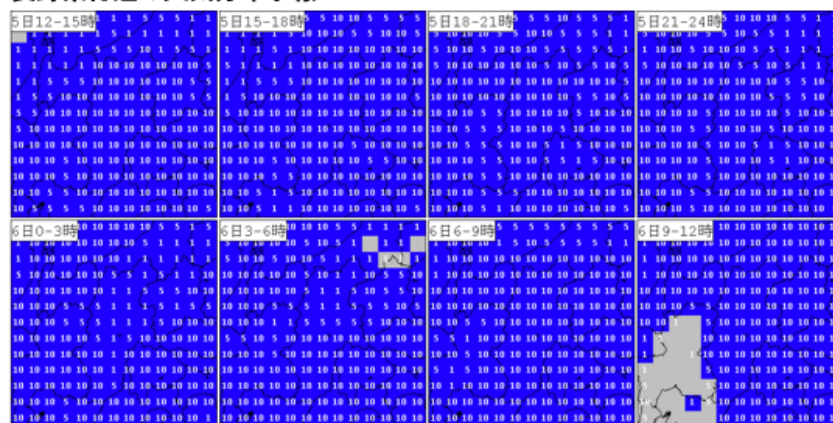
平成26年10月5日 11時00分

週間天気予報(長野県 気温:長野)

日	6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)	11日(土)	12日(日)
天気							
降水確率(%)	90/80/30/0	20	20	20	20	30	30
最高気温(℃)	18	20	22	24	25	24	22
最低気温(℃)	15	11	9	11	12	13	12

降水確率の1日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

長野県付近の天気分布予報



天気: 晴れ 曇り 雨 範囲外 数字は兩格子の3時間雨量 1(1~4ミリ) 5(5~9ミリ) 10(10ミリ以上)

御嶽山の火山活動に係る被害状況等について（第17報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

平成26年10月5日（日）11時00分
消 防 庁 災 害 対 策 本 部
※下線部は前回からの変更箇所

1 火山の状況（気象庁情報）

- ・ 9月27日11時52分頃、御嶽山で噴火が発生した。
- ・ 中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば、南側斜面を噴煙が流れ下り、3kmを超えるのを観測した。
- ・ 山頂火口から4km程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要。
- ・ 気象庁は、9月27日12時36分、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げ。また、同日13時35分に降灰予報を発表した。

2 被害の状況

(1) 人的被害

長野県

死者 51名
負傷者 59名（重傷27名、軽傷32名）
行方不明者 12名

※10月4日に心肺停止の状態で見つめられた4名のうち、身元が確認されていなかった1名が行方不明者13名のうちの1名であることが確認された。

岐阜県

負傷者 10名（重傷2名、軽傷8名）
行方不明者 なし

(2) 建物被害

確認中

3 地方公共団体における災害対策本部等の設置状況

長野県 9月27日 13時20分 警戒対策本部設置
→ 27日 14時10分 災害対策本部へ移行
岐阜県 9月27日 13時15分 火山災害警戒本部設置

4 消防機関の活動

○10月5日は、約360名体制で活動。

・うち、約140名が王滝登山口等から入山し、救助活動を予定していたが、10月5日5時7分、降雨のため、救助活動中止を決定。

○これまでの消防機関の活動体制及び救助・搬送者数は次表のとおり。

(表1) 消防機関の活動体制(10月5日まで)

	活動規模						緊急消防援助隊	合計
	長野県			岐阜県				
	木曾広域消防本部	消防団 (木曾町・王滝村)	県内応援 消防本部	下呂市消防本部	消防団 (下呂市)	県内応援 消防本部		
9月28日(日)	約60名	約10名	約100名	約10名	約10名	約10名	約210名	約410名
29日(月)	約60名	約10名	約110名	—名	—名	—名	約220名	約400名
30日(火)	約60名	約10名	約90名	—名	—名	—名	約230名	約390名
10月1日(水)	約60名	約5名	約90名	約10名	—名	約5名	約240名	約410名
2日(木)	約60名	—名	約80名	—名	—名	—名	約230名	約370名
3日(金)	約60名	—名	約80名	—名	—名	—名	約240名	約380名
4日(土)	約60名	—名	約70名	—名	—名	—名	約230名	約360名
5日(日)	約60名	—名	約70名	—名	—名	—名	約230名	約360名
延べ	約480名	約35名	約690名	約20名	約10名	約15名	約1,830名	約3,080名

(表2) 消防機関による救助・搬送者数(10月4日まで)

	長野県	岐阜県	計
ヘリによる救助・搬送	—	2名	2名
担架による救助・搬送	56名	—	56名
救急搬送	22名	3名	25名
計	78名	5名	83名

※救助・搬送手段を併用している場合や、各部隊が共同で救助・搬送を実施している場合があり、救助数等は重複を含む。

(1) 地元消防機関の活動状況

- ・長野県：10月5日は、木曾広域消防本部が約60名体制で活動。
長野県防災ヘリコプター1機が松本空港に待機。
- ・岐阜県：岐阜県防災ヘリコプター1機が岐阜飛行場に待機。

(2) 県内応援消防本部の活動状況

- ・長野県：10月5日は、県内9本部が約70名体制で活動。

(3) 緊急消防援助隊の活動状況

- ・平成26年9月27日20時30分、長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣を要請。
- ・ただちに消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材(LCD3.3)を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都及び山梨県の4都県に対して、出動要請。
- ・9月30日、航空体制強化のため、東京消防庁大型ヘリコプターを出動要請。

<10月5日の活動>

- ・愛知県、静岡県、東京都及び山梨県4都県合計56隊229名体制で活動。
- ・うち指揮支援隊として、長野県庁で東京消防庁1隊3名、王滝村役場で名古屋市消防局1隊7名が活動。

5 消防庁の対応

9月27日	14時30分	応急対策室長を長とする災害対策室を設置
	19時28分	関係省庁局長級会議に消防庁次長が出席
	20時20分	国民保護・防災部長を長とする災害対策本部を設置
	20時30分	長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣の要請 同時刻に消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都、山梨県の4都県に対して出動要請
9月28日	6時00分	緊急消防援助隊の活動調整等のため、消防庁職員1名を長野県に派遣
	17時00分	消防庁長官を長とする災害対策本部へ改組
	19時00分	「平成26年（2014年）御嶽山噴火非常災害対策本部第1回本部会議」に消防庁次長が出席
	21時00分	政府現地対策本部要員として消防庁職員1名を長野県に派遣
9月29日	17時30分	「平成26年（2014年）御嶽山噴火非常災害対策本部第2回本部会議」に消防庁審議官が出席
9月30日	17時30分	「平成26年（2014年）御嶽山噴火非常災害対策本部第3回本部会議」に消防庁次長が出席
10月 1日	8時30分	緊急消防援助隊の活動調整等のため、消防庁職員2名を王滝村役場の現地指揮所に派遣
	18時10分	「平成26年（2014年）御嶽山噴火非常災害対策本部第4回本部会議」に消防庁次長が出席
10月 2日	17時30分	「平成26年（2014年）御嶽山噴火非常災害対策本部第5回本部会議」に消防庁次長が出席
	21時30分	長野県、岐阜県に対し「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項について」を発出
10月 3日	17時30分	「平成26年（2014年）御嶽山噴火非常災害対策本部第6回本部会議」に消防庁次長が出席

問い合わせ先

消防庁災害対策本部 広報班

T E L 03-5253-7513

F A X 03-5253-7537

御嶽山噴火における緊急消防援助隊の活動状況



ガス濃度の測定を行いながら活動する隊員(9月28日)



岩の下敷きとなった要救助者の救助を行う隊員(10月1日)



ぬかるみをかき分け救助現場へ向かう隊員(10月4日)



粘土状の火山灰の中から要救助者の検索を行う隊員(10月4日)

台風第18号等に伴う大雨による被害状況等について（第2報）

平成26年10月5日（日）15時30分
 消防庁災害対策室
 ※下線部は前回からの変更箇所

1 気象状況（気象庁情報）

- ・大型で強い台風第18号は、10月5日14時には種子島の南東にあって、1時間におよそ20kmの速さで北へ進んでいる。中心の気圧は945hPa、中心付近の最大風速は40m、最大瞬間風速は60mで中心から半径190km以内では風速25m以上の暴風となっている。
- ・今後、向きを東よりに変えて、強い勢力を維持したまま、5日夜には四国に、6日にかけて速度を早め、本州の太平洋側にかなり接近・上陸するおそれがある。
- ・台風の接近に伴い風が急激に強くなり、猛烈な風、猛烈なしけとなる。九州南部・奄美では5日夜にかけて、四国・近畿では5日午後から6日朝にかけて、東海・関東・北陸では6日明け方から夕方にかけて、東北では6日昼前から夕方にかけて、暴風、高波に嚴重な警戒が必要。
- ・本州付近には非常に湿った空気が流入するため、大気の状態は不安定となり、前線の活動が活発となる。台風から離れたところでも大雨のおそれがある。
- ・土砂災害や洪水、低い土地の浸水に嚴重な警戒が必要。

2 被害状況

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
沖縄県				1			1				1
合計	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1

3 避難状況

都道府県名	市区町村名	避難指示				避難勧告			
		対象世帯数	対象人数	指示日時	解除日時	対象世帯数	対象人数	勧告日時	解除日時
東京都	神津島村					121	322	10月5日 11時25分	
	小計（発令中）	0	0			121	322		
	小計	0	0			121	322		
高知県	安芸市					6	13	10月5日 15時00分	
	小計（発令中）	0	0			6	13		
	小計	0	0			6	13		
合計（発令中）		0	0			127	335		
合計		0	0			127	335		

4 都道府県における災害対策本部の設置状況

三重県 15時00分 災害対策本部設置

5 消防庁の対応

10月 3日 18時00分 全都道府県に対し、「台風第18号等による大雨について」の大雨警戒情報を発出

10月 5日 12時00分 応急対策室長を長とする災害対策室を設置

問い合わせ先
 消防庁災害対策室
 安西・稲勝・牧原
 TEL 03-5253-7527
 FAX 03-5253-7537

1. 経緯

おんたけさん

平成26年9月27日（土）11時52分頃、御嶽山で噴火が発生。同日14時31分、長野県知事から陸上自衛隊第13普通科連隊長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

2. 対応（26. 10. 5 1600現在）

◇ 派遣規模 人員約330名、車両約90両（89式装甲戦闘車4両、73式装甲人員輸送車1両を含む）、航空機15機

- 第13普通科連隊(松本)：人員約270名、車両約70両
- 第12化学防護隊(相馬原)：人員約10名、車両約5両
- 中央特殊武器防護隊(大宮)：人員約10名、車両約5両
- 第12ヘリコプター隊(相馬原、北宇都宮)：航空機11機(OH-6×2、UH-60×5、CH-47×4)
- 東部方面航空隊(立川)：航空機3機(UH-1×2、OH-1×1)
- 富士教導団(富士)等：人員約20名、車両約5両
- 第12後方支援隊(相馬原)：人員約20名、車両約5両
- 空自救難教育隊(小牧)：航空機1機(UH-60×1)

◇ 活動内容 航空偵察（映像配信）、人命救助（23名）、心肺停止者の搬送（51名）、関係機関職員の輸送（197名）

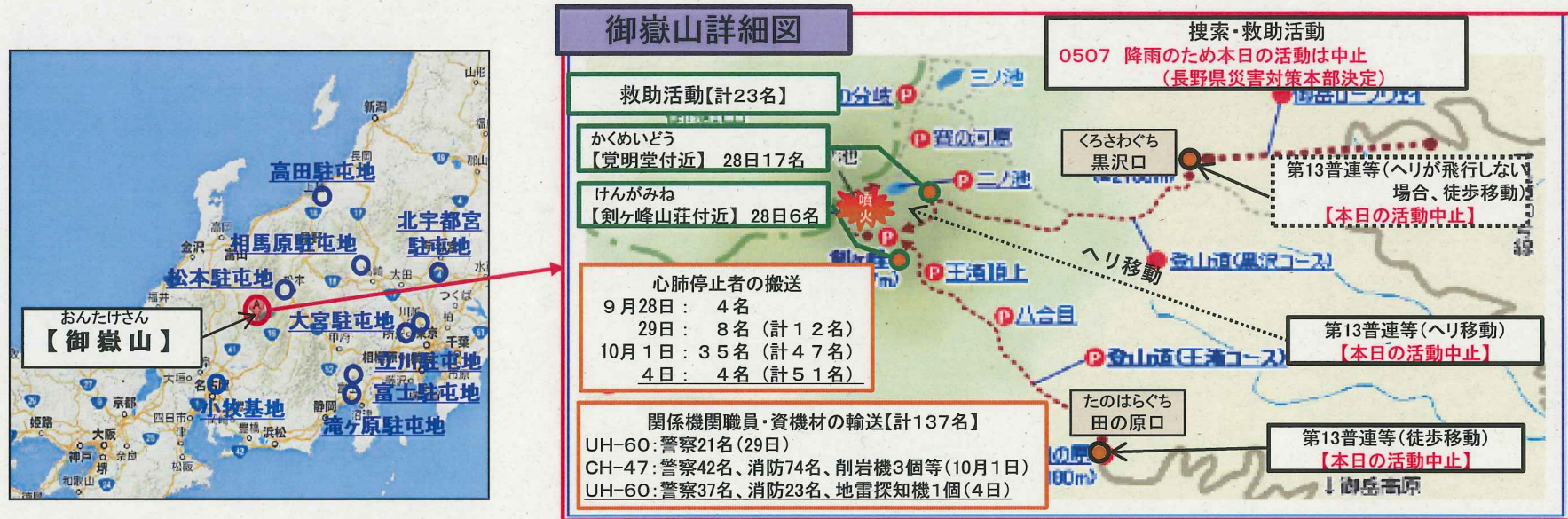
○山頂付近一帯の航空偵察を実施。【27日～】

○黒沢口、田の原口及び開田口の各登山口より徒歩又は航空機で山頂付近へ移動し、到着後捜索・救助活動を実施。【28日～】

○UH-60によるホイスト吊り上げ等により、剣ヶ峰山荘付近6名、覚明堂付近17名の計23名を救助。【28日】

○徒歩及びUH-60、CH-47により、頂上付近の心肺停止者51名を搬送。【28日～】

○関係機関職員（警察延べ100名、消防延べ97名）の輸送。【29日～】





地雷探知機等を使用した捜索



警察と連携した捜索



9合目手前500m付近の火山灰の様子

御嶽山の火山活動に関する国土交通省の対応状況

1. 救助、下山支援

【9/27(土)】

○15:15 官邸リエゾン^{にこりこ}を派遣。

○19:10 より濁河温泉（下呂市側）の下山道にて国交省の照明車両による徒歩下山者支援を実施。

【9/28(日)】

○災害対策用機械 14 台が稼働。

- ・ 3:00 時点で照明車両 5 台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。
- ・ 木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車 3 台、散水車 3 台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は 4:20 作業完了。
- ・ 衛星通信車 2 台、Ku-SAT1 台によりヘリ画像等を通信。

○リエゾン 11 名派遣（王滝村 1 名、木曾町 1 名、長野県庁 2 名、長野県木曾地方事務所 1 名、高山市 2 名、下呂市 2 名、岐阜県庁 2 名）。

○TEC-FORCE の派遣

中部地方整備局より、19 名派遣（9/27：13 名派遣）。

○19:05 防衛省と調整し、「9 月 28 日 19 時 05 分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径 5 海里（約 9.3km）以内、地上から 11,000ft（約 3,400m）までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報（ノータム）を発行（11:51 に発行した航空情報を更新）。

【9/29(月)】

○災害対策用機械 7 台が稼働中。

- ・ 照明車両 2 台が自衛隊等入山の支援のため稼働中。
- ・ 木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車 3 台、散水車 1 台で実施。
- ・ Ku-SAT 1 台により王滝村役場において CCTV 画像等を配信。

○リエゾン 9 名派遣中（王滝村 2 名、木曾町 2 名、長野県庁 2 名、長野県木曾地方事務所 1 名、岐阜県庁 2 名）。

○TEC-FORCE の派遣

中部地方整備局より、9 名派遣。

○政府現地対策本部へ、国土交通本省より 1 名、中部地方整備局より 1 名、北陸信越運輸局より 2 名、北陸信越運輸局長野支局より 1 名派遣（9/28

～29)

【9/30(火)】

- 災害対策用機械9台が待機又は稼働中(照明車両2台、路面清掃車3台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT2台)。
- リエゾン9名派遣中(王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名、長野県木曾地方事務所1名、岐阜県庁2名)。
- OTEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、4名派遣。
- 政府現地対策本部へ5名の派遣を継続中。

【10/1(水)】

- 災害対策用機械6台が待機又は稼働中(照明車2台、路面清掃車1台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT1台)。
- リエゾン6名派遣中(王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名)。
- OTEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、10名派遣。
- 政府現地対策本部へ5名の派遣を継続中。加えて、国土地理院より1名を派遣(9/29～)

【10/2(木)】

- 災害対策用機械7台が待機又は稼働中(照明車2台、路面清掃車1台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT2台)。
- リエゾン6名派遣中(王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名)。
- OTEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、10名派遣。
- 政府現地対策本部へ6名の派遣を継続中。

【10/3(金)】

- 災害対策用機械8台が待機又は稼働中(照明車2台、路面清掃車1台、散水車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT3台)。
- リエゾン6名派遣中(王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名)。
- OTEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、10名派遣。
- 政府現地対策本部へ6名の派遣を継続中。

【10/4(土)～10/5(日)】

- 災害対策用機械8台が待機又は稼働中(照明車2台、路面清掃車1台、衛星通信車1台、Ku-SAT4台)。
- リエゾン6名派遣中(王滝村2名、木曾町2名、長野県庁2名)。
- OTEC-FORCEの派遣
中部地方整備局より、4日(土)：6名派遣、5日(日)：2名派遣。
- 政府現地対策本部へ6名の派遣を継続中。

2. 二次災害防止対策

【9/27(土)】

- 16:05 防災ヘリによる上空調査により、山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。(ヘリからの目視確認)
- 土砂災害防止法に基づく緊急調査のため、国総研・土研より砂防専門家3名を現地に派遣。

【9/28(日)】

- 6:02 から噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策を検討するための防災ヘリによる緊急調査を実施(砂防専門家3名等)。
- 地上における降灰状況調査に着手。
- 気象庁から関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気の前想)を提供。(5:00 から1日2回の提供)。
- 救助活動中の二次災害を防止するため、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。
- 今後の応急対策に資する備蓄資材(大型土のう袋等)を確保済み。

【9/29(月)】

- 砂防専門家3名により、噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策を検討するための緊急調査を継続。
- 地上における降灰状況調査を継続。UAV(無人ヘリ)を用いて、立入規制区域を含めて調査を実施中。
- 気象庁から関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気の前想)の提供を継続。
- 中部地方整備局防災ヘリコプターによる砂防専門家等の御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/29、12:00~)。

【9/30(火)】

- 砂防専門家2名による緊急調査を継続。
- 気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気の前想)の提供を継続。
- 中部、関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/30、9:30~)。

【10/1(水)】

- 砂防専門家2名による緊急調査を継続。
- 気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気の前想)の提供を継続。
- 監視カメラとワイヤーセンサーを濁沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川に設置するための現地調査を実施中(9/30~)。
- 今後の降雨に伴う土石流などの二次災害に対処するため、流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コン

クリートブロック積み砂防堰堤 1 基を緊急的に設置予定 (10/2~)。

【10/2(木)】

- 砂防専門家 2 名による緊急調査を継続。
- 気象情報 (御嶽山上空の風と周辺の天気の前想) の提供を継続。
- 監視カメラとワイヤーセンサーを濁沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川に順次設置中。
- 鹿ノ瀬川のコンクリートブロック積み砂防堰堤 1 基を設置中。
- 長野県、岐阜県、^{おうたきむら}王滝村、^{きそまち}木曾町に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」を情報提供・説明し、注意喚起を実施。

【10/3(金)】

- 土石流等に対する二次災害防止のため、山頂付近に火山灰が厚く堆積した湯川、白川、濁沢川において、降灰の影響を考慮した土石流に関するシミュレーションを実施。とりまとめた結果について、本日、長野県、木曾町、王滝村に報告するとともに公表。
- 監視カメラとワイヤーセンサーを順次設置中。
- 砂防専門家 2 名による緊急調査を継続。
- 気象情報 (御嶽山上空の風と周辺の天気の前想) の提供を継続。
- ^{かのせがわ}鹿ノ瀬川のコンクリートブロック積み砂防堰堤 1 基を設置中。

【10/4(土)~10/5(日)】

- 監視カメラとワイヤーセンサーを順次設置中。

<監視カメラとワイヤーセンサーの設置状況>

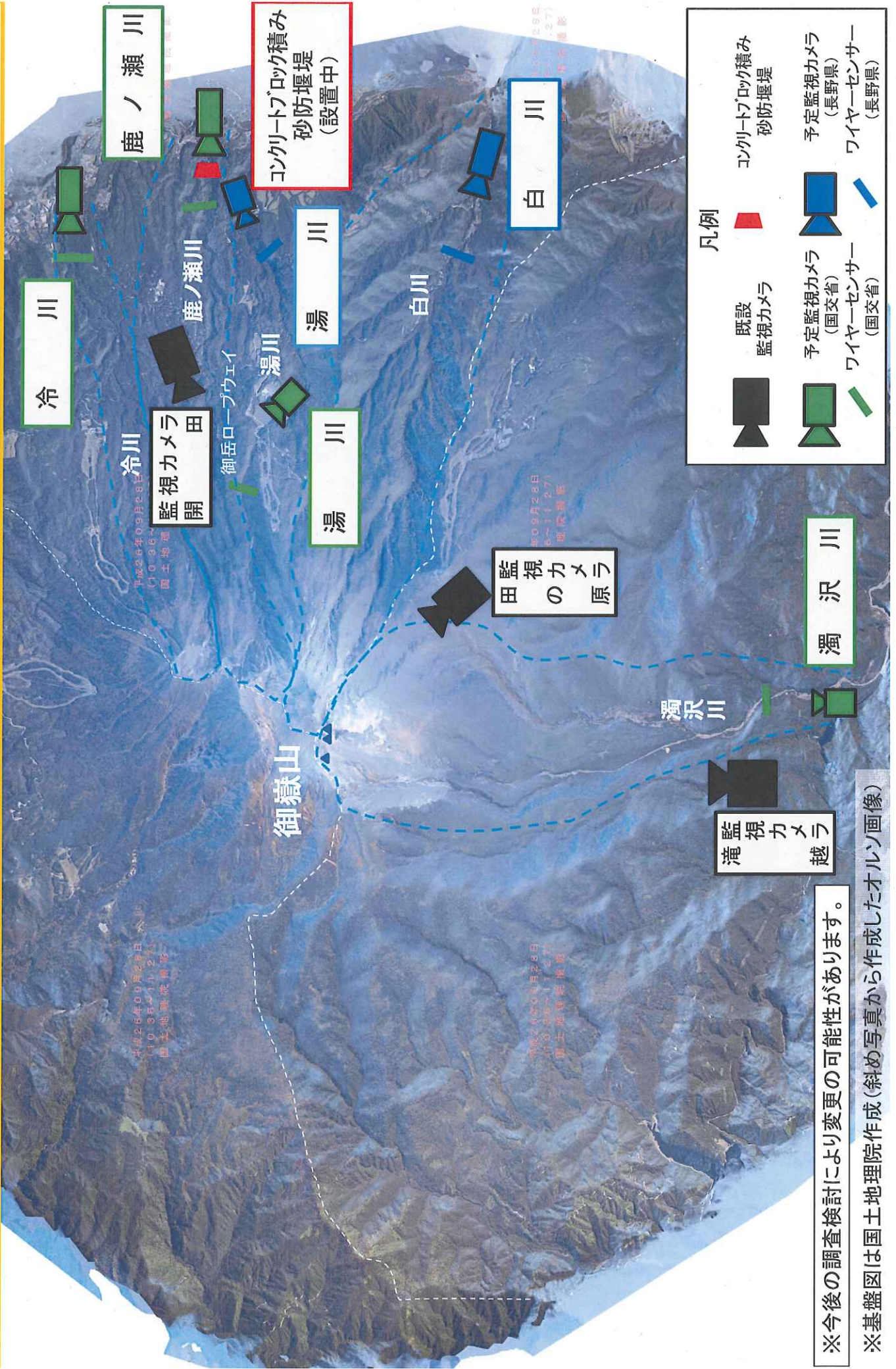
河川名	監視カメラ	ワイヤーセンサー	機関名
ゆかわ 湯川	10/5 以降	10/5 以降	国土交通省
	10/2 完了	10/2 完了	長野県
しらかわ 白川	<u>10/3 完了</u>	10/2 完了	長野県
にごりさわがわ 濁沢川	10/2 完了	<u>10/3 完了</u>	国土交通省
つめたがわ 冷川	10/2 完了	<u>10/3 完了</u>	国土交通省
かのせがわ 鹿ノ瀬川	10/2 完了	<u>10/4 完了</u>	国土交通省

- 砂防専門家 2 名による緊急調査を継続。
- 気象情報 (御嶽山上空の風と周辺の天気の前想) の提供を継続。
- ^{かのせがわ}鹿ノ瀬川のコンクリートブロック積み砂防堰堤 1 基を設置中。

3. その他

- 長野県道 1 路線、木曾町道 4 路線、王滝村道 1 路線で入山規制に伴う事前通行規制を実施中。
- 9月27日 13:35 以降、気象庁から降灰予報を約6時間毎に発表している。
- 御岳ロープウェイ運休中。
- おんたけ交通 バス 3 路線運休中。
- 気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報（ノータム）を発行（9月27日 12:21）。以降、継続して発行（41 通目 10月5日 3:26）。
- 9月29日 御嶽山の噴火周辺地域の斜め写真による3D動画を国土地理院HPで公開。
- 10月1日 撮影したSAR画像から火口位置を推定し、国土地理院HPで公開。

二次災害防止に向けた監視体制等



※今後の調査検討により変更の可能性があります。

※基盤図は国土地理院作成(斜め写真から作成したオルソ画像)

御嶽山の噴火による被害状況等について（第10報）

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	9月27日	12:36 注意体制			
		13:45 非常体制			
	9月28日	17:00 非常災害対策本部			
関東地方整備局	9月27日	14:00 注意体制	北陸信越運輸局	9月27日	12:50 注意体制
中部地方整備局	9月27日	12:36 警戒体制	中部運輸局	9月27日	15:00 注意体制
		14:45 非常体制			
国土地理院	9月27日	12:36 注意体制	気象庁	9月27日	12:36 警戒体制
		13:45 非常体制			17:00 非常体制

2. 噴火の概要

・9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を3キロメートルを超えて流れ下る噴煙を観測したため、噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。なお、火山性微動が継続していることから現在も噴火が継続していると推測される。

・御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと

・9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。

・9月28日中部地方整備局の協力で実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂付近に北西から南東方向に伸びる火口列が見られ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく火口上1000メートルまで上昇するのが認められ、ときおり火山灰交じりの薄灰色の噴煙が認められた。

・火山性微動は10月1日に入ってから振幅が徐々に小さくなり、10月1日19時頃からは検知できない程度の大きさになっていた。10月2日19時30分頃から再び観測されているが振幅は徐々に小さくなっている。（10月5日9時現在）。

・御嶽山の南東約3キロメートルに設置している傾斜計に、10月4日13時頃から、わずかな山側上がりの変化がみられ、現在も継続している。噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると、変動開始から現在までの変動の大きさは100分の1程度。

・10月5日3時には噴煙が火口縁上300mまで上がっていた。これ以降は視界不良のため噴煙の高さを確認することができず、10月5日9時現在、噴煙の高さは不明である。

【噴火警報の発表状況等】

○9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）

噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）

※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。

○対象市町村等

・長野県：王滝村、木曾町

・岐阜県：高山市、下呂市

○防災上の警戒事項

・火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流等に警戒が必要

・風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要

・爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

- 9月27日13時35分 ~ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示
- 9月27日16時 ~ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表
- 9月28日19時30分 噴火警報（火口周辺警報）を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

3. 気象の見通し

- ・御嶽山の山頂付近は、今日5日08時現在、18メートル程度の南西の風が吹いていると見られる。今日は南西の風15メートルからは20メートル程度の見込み。明日6日は南の風25メートル程度で昼前からは北の風15から20メートル程度の見込み。
- ・御嶽山周辺の天気は、今日5日は台風第18号の北上により、湿った風が流れ込むため雨となり、昼前から激しく降る所がある見込み。明日6日は台風の接近により、昼前まで雨や風が強まる見込み。昼過ぎからは次第に晴れてくる見込み。
- ・明日6日朝までに予想される雨量は、多いところで120ミリの見込み。その後、7日朝までにおよそ50から100ミリの雨が降る見込み。

4. 国土交通省の対応

- 9/27 14:25大臣防災センター登庁（対策を指示）
- 9/27 14:30気象庁記者会見
- 9/27 14:40第1回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/27 15:43第2回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/28 10:30御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議を開催
- 9/30 北川国土交通副大臣が現地入り
- 政府現地対策本部へ派遣
 - ・国土交通本省より1名派遣、中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣、北陸信越運輸局長野支局より1名派遣(9/28~10/5)
- 官邸リエゾンを派遣(9/27~10/4)

【救助、下山支援】

- リエゾン（情報連絡員）の派遣
 - ・自治体支援（長野県、長野県王滝村、長野県木曾町、岐阜県、岐阜県高山市、岐阜県下呂市）のため最大11名派遣(9/27~10/5)。
- 専門家の派遣
 - ・国総研、土研より砂防専門家最大3名を派遣（国総研1名：9/27~29、10/2~3、10/5~）（土研1名：9/27~10/1、1名：9/27~10/3、1名：10/5~）（噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策の検討・助言するため）

○災害対策用機械等出動状況（10月5日9:00現在）

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
中部地整	長野県木曾郡王滝村（田ノ原駐車場）	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	2	稼働後撤収済	9月27日~9月28日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口）	下山者支援	照明車	1	稼働後撤収済	9月27日~9月28日
中部地整	長野県木曾郡開田村（開田登山口）	下山者支援	照明車	1	稼働後移動	9月27日~9月28日
	長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口）				稼働後撤収済	9月27日~9月28日
中部地整	岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口）	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	1	稼働後撤収済	9月27日~9月28日
中部地整	長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中	9月29日~
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中	9月29日~

中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
					待機中	10月1日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道）	降灰清掃	路面清掃車	2	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道）	降灰清掃	散水車	3	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	待機後撤収	9月28日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	待機後撤収	9月29日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	散水車	1	待機後撤収	9月28日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	捜索活動支援（ヘリポート）	散水車	1	待機後撤収	9月30日～ 10月1日
中部地整	長野県木曾郡大滝村（松原スポーツ公園）	捜索活動支援（ヘリポート）	散水車	1	稼働後撤収	10月1日～ 10月3日
中部地整	長野県木曾郡王滝村（八海山登山口）	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口）	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働後撤収済	9月27日～ 9月28日
中部地整	長野県木曾郡王滝村 王滝村役場	映像配信	Ku-SAT	1	稼働後撤収済	9月28日～ 9月30日
中部地整	長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	衛星通信車	1	稼働中	9月29日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	入山規制支援	Ku-SAT	1	稼働中	9月29日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	土石流監視	Ku-SAT	1	稼働中	10月2日～
中部地整	名古屋大学地震火山緊急センター	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中	10月2日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町役場	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中	10月3日～

※災害対策用機械等最大16台派遣。

- ・9/27より照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。
- ・木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は4:20作業完了。

【二次災害防止対策】

○9月28日、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手。

○TEC-FORCEの派遣

- ・救助・下山支援および被災状況把握、応急対策実施等のため最大19名派遣(9/27～10/5)。

○防災ヘリコプターによる被害状況調査

- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施(9/27 15:20～)。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/28:2回、9/29:1回、9/30:1回)。

- ・ 関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/30 : 1回)。

○地上における状況調査

- ・ 地上より降灰状況調査を実施。UAV（無人ヘリ）を用いて立入規制区域を含めて調査を実施(9/29)。

○関係自治体等への情報提供

- ・ 関係する県、市町村、関係機関等に、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。
- ・ 関係自治体に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」の情報提供を実施。
- ・ 御嶽山における降灰後の土石流に関するシミュレーション結果を、長野県、木曾町、王滝村に情報提供実施。(10/3)

○今後の応急対策に資する備蓄資材（大型土のう袋等）を確保済み。

○監視カメラとワイヤーセンサー設置状況

河川名	監視カメラ	ワイヤーセンサー	機関名
湯川	10月5日以降	10月5日以降	国土交通省
	10月2日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
白川	10月3日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
濁沢川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
冷川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
鹿ノ瀬川	10月2日 設置完了	10月4日 設置完了	国土交通省

○砂防堰堤設置

- ・ 流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コンクリートブロック積堰堤1基（4tブロック使用）を設置中（10/2～）

【その他】

○長野県道1路線で噴火による通行規制を9月27日14:20から実施中

上記の外に、町道鹿ノ瀬線、屋敷野線、千本松線、寒原倉越線、村道41号線について噴火による通行規制中

○9月28日19:05 防衛省と調整し、「9月28日19時05分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径5NM（約9.3km）以内、地上から11,000ft（約3,400m）までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報（ノータム）を発行（9月28日11:51に発行した航空情報を更新）。

○気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報（ノータム）を9月27日12:21に発行。以降、継続して発行（41通目10月5日3:26）。

5. 気象庁の対応

- 御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- 噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。
- 気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施（長野地方気象台：9月27日13時55分～、気象庁：9月27日15時40分～）
- 降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施（9月27日～）
- 火山活動状況に関して記者会見（9月27日14時30分）
- 御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知（9月27日）。
- 長野県の災害対策本部会議に出席（9月27日～）

- 長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報（御嶽山上空の風と周辺の天気の予想）を提供（9月28日5時～ 1日2回の提供）
- 国土交通省中部地方整備局のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認（9月28日午前）
- 陸上自衛隊のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認（9月28日午後）
- 気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施（9月28日）
- 火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、統一見解を公表（9月28日）
- 政府の現地対策本部に東京管区気象台気象防災部長他3名を派遣（9月28日～）
- 王滝大又（長野県木曾郡王滝村）に臨時雨量観測所を設置（10月3日）

6. 国土地理院の対応

- ・御嶽山の被害状況把握のため、空中写真撮影準備中（9月27日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影を実施（9月28日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真を関係機関へ提供（9月28日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真および正射画像をホームページで公開（9月28日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影および航空機SAR観測を実施（9月29日）
- ・28, 29日撮影の斜め写真による3D動画をホームページで公開（9月29日）
- ・政府の現地対策本部に職員1名を派遣（9月29日～）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の航空機SAR観測を実施（9月29, 30日）
- ・29, 30日に観測したSAR画像から推定した火口位置とSAR画像をホームページで公開（9月30日）
- ・人工衛星（だいち2号）データを用いて御嶽山の地表変化を面的に把握しホームページで公表（10月3日）

URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>

7. 一般被害の状況

○警察庁情報

・人的被害

死者51人（警察庁（10月5日9:30現在）

負傷者69人（長野県59名、岐阜県10名）（消防庁（10月5日9:00現在）

※長野県の負傷者59名は、病院に収容された負傷者数。

行方不明者：12名（長野県御嶽山噴火災害対策本部（10月5日10:00現在）

※4日に搬送された死者4名はこれまでの行方不明者と一致

※行方不明者数は、お問い合わせの情報等を基に集計したものであり、今後も変動することがある。

8. 所管施設等の状況

○河川（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○管理ダム（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○土砂災害（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○道路（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○鉄道関係（10月5日9:00現在）

- ・9月27日 12時55分より御岳ロープウェイは運転休止

○航空関係（10月5日9:00現在）

- ・空港施設等被害情報なし
- ・欠航便情報なし

○自動車関係（10月5日9:00現在）

【御遺体搬送関係】

長野県からの要請により、長野県トラック協会、全国霊柩自動車協会が以下のとおり対応
（御遺体搬送のための延べ車両数50両）（予定）

- ・9月28日 御遺体の搬送のための車両（4両）手配
- ・9月29日 御遺体の搬送のための車両（2両）手配
- ・9月30日 御遺体の搬送のための車両（6両）手配
- ・10月1日 御遺体の搬送のための車両（14両）手配
- ・10月2日 御遺体の搬送のための車両（20両）手配
- ・10月4日 御遺体の搬送のための車両（1両）手配
- ・10月5日 御遺体の搬送のための車両（3両）手配（予定）

【バス関係】

- ・おんたけ交通 バス3路線運休中

○海事関係（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○港湾関係（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○物流関係（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○下水道（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○公園（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○宅地（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○公営住宅関連等（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○官庁施設（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○観光関係（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 菊地
代表：03-5253-8111 内線35-738
直通：03-5253-8461

台風第18号による大雨等による被害状況等について（第1報）
※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	10月3日	16:00	注意体制		
近畿地方整備局	10月5日	9:00	注意体制	北陸信越運輸局	10月3日 16:00 注意体制
				中部運輸局	10月5日 6:00 注意体制
九州地方整備局	10月4日	22:00	注意体制	九州運輸局	10月5日 7:00 注意体制
国土地理院	10月3日	17:10	注意体制	気象庁	10月4日 6:00 警戒体制

2. 気象状況

(1) 気象の概況と見通し（10月5日9時現在）

【概況】

○大型で非常に強い台風第18号は、今日（5日）8時現在、奄美大島の東の海上にあって、毎時15キロメートルで北に進んでいる。（中心気圧945hPa、中心付近の最大風速45メートル、最大瞬間風速60メートル）

○奄美地方の一部では猛烈な風が吹き、九州南部・奄美地方では猛烈なしけとなっている。

○沖縄地方と九州南部・奄美地方では大雨となっているところがある。

【見通し】

○台風は非常に強い勢力を保ったまま北東に向きを変え、明日（6日）にかけて、西日本や東日本にかなり接近、上陸するおそれがある。

○台風の北上と、本州付近に停滞する前線の影響で、明日（6日）にかけて、奄美地方と西日本から北日本の広い範囲で一時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降り、台風の最接近時には一時間に80ミリから100ミリの猛烈な雨が降るところがある見込み。明日（6日）朝までに予想される雨量は、多いところで、東海地方500ミリ、四国、近畿地方400ミリなど。その後も7日朝までに、東海地方や関東甲信地方ではおよそ200から300ミリの雨が降る見込み。

○明日（6日）にかけて、西日本と東日本では猛烈な風が吹き、太平洋側を中心に猛烈にしける。6日からは潮位の高い期間となり、東日本の太平洋側を中心に高潮に警戒。

○御嶽山周辺では、今日（5日）から明日（6日）にかけて、前線や台風の影響で、雨や風が強まる見込み。明日昼過ぎからは次第に晴れてくる見込み。

(2) 大雨等の状況（10月4日0時～10月5日8時）

・ 主な1時間降水量 （アメダス観測値）

沖縄県	南大東	58.0ミリ	4日16時29分まで
沖縄県	旧東	54.5ミリ	4日16時10分まで
沖縄県	北大東	54.0ミリ	4日17時47分まで
鹿児島県	中種子	32.5ミリ	5日 7時54分まで
鹿児島県	種子島	27.5ミリ	5日 8時00分まで
鹿児島県	古仁屋	24.5ミリ	5日 7時14分まで
鹿児島県	屋久島	20.5ミリ	5日 8時00分まで
東京都	八丈島	19.5ミリ	4日 2時26分まで
東京都	三宅島	19.0ミリ	5日 2時21分まで
東京都	青ヶ島	18.0ミリ	5日 2時17分まで

(気象レーダー等による解析 (※))

鹿児島県	屋久島町	約60ミリ	5日07時30分まで
大東島地方	南大東村	約60ミリ	4日16時30分まで
鹿児島県	奄美市	約50ミリ	5日07時00分まで
大東島地方	北大東村	約50ミリ	4日18時00分まで

※レーダー等を用いて解析された降水量(1km四方毎)の市町村内の最大値を表記。
 ~50ミリ : 5ミリ単位
 50~200ミリ : 10ミリ単位
 200~500ミリ : 50ミリ単位
 500~ ミリ : 100ミリ単位
 で表記。

・ 主な24時間降水量 (アメダス観測値)

沖縄県	北大東	245.5ミリ	4日23時20分まで
沖縄県	旧東	234.0ミリ	4日23時30分まで
沖縄県	南大東	224.5ミリ	4日23時30分まで
東京都	青ヶ島	195.0ミリ	4日 6時50分まで
鹿児島県	古仁屋	94.5ミリ	5日 8時00分まで
鹿児島県	中種子	87.5ミリ	5日 8時00分まで
東京都	三宅島	85.0ミリ	5日 8時00分まで
東京都	八丈島	77.5ミリ	4日 8時40分まで
秋田県	仁別	76.5ミリ	4日 2時00分まで
東京都	三宅坪田	74.0ミリ	5日 8時00分まで

(気象レーダー等による解析 (※))

鹿児島県	屋久島町	約500ミリ	5日08時00分まで
鹿児島県	奄美市	約400ミリ	5日08時00分まで
大東島地方	南大東村	約250ミリ	4日24時00分まで
大東島地方	北大東村	約250ミリ	4日23時00分まで

・ 主な期間降水量 (10月4日0時から5日8時までの各観測所の総降水量) (アメダス観測値)

沖縄県	北大東	244.5ミリ
沖縄県	旧東	233.0ミリ
沖縄県	南大東	222.5ミリ
東京都	八丈島	108.5ミリ
東京都	八重見ヶ原	98.5ミリ
鹿児島県	古仁屋	94.5ミリ
鹿児島県	中種子	87.5ミリ
東京都	三宅島	86.0ミリ
東京都	三宅坪田	76.5ミリ
鹿児島県	喜界島	67.0ミリ

(気象レーダー等による解析 (※))

鹿児島県	屋久島町	約500ミリ
鹿児島県	奄美市	約400ミリ
鹿児島県	大和村	約250ミリ
大東島地方	南大東村	約250ミリ
大東島地方	北大東村	約250ミリ

(3) 強風の状況 (10月4日0時~10月5日8時)

・ 主な風速

鹿児島県	喜界島	29.9m/s	(北北西)	5日 4時00分
沖縄県	北大東	28.6m/s	(北北西)	4日12時39分
沖縄県	南大東	27.7m/s	(北西)	4日16時19分
鹿児島県	笠利	27.6m/s	(北)	5日 5時05分
沖縄県	旧東	25.7m/s	(北)	4日 8時03分
鹿児島県	屋久島	25.1m/s	(北北東)	5日 6時19分
鹿児島県	天城	22.3m/s	(北北西)	5日 2時09分
鹿児島県	沖永良部	22.1m/s	(北北西)	5日 0時12分
鹿児島県	名瀬	20.5m/s	(北北西)	5日 7時00分
鹿児島県	与論島	19.2m/s	(北西)	5日 4時05分

・ 主な瞬間風速

沖縄県	北大東	45.3m/s	(北北西)	4日 14時35分
鹿児島県	喜界島	42.2m/s	(北北西)	5日 5時45分
沖縄県	南大東	41.2m/s	(北北西)	4日 14時37分
沖縄県	旧東	40.6m/s	(西北西)	4日 16時03分
鹿児島県	笠利	39.1m/s	(北)	5日 2時45分
鹿児島県	尾之間	37.2m/s	(北東)	5日 7時45分
鹿児島県	名瀬	35.2m/s	(北北西)	5日 6時46分
鹿児島県	屋久島	34.0m/s	(北北東)	5日 7時37分
鹿児島県	中之島	30.9m/s	(東北東)	5日 7時38分
鹿児島県	天城	30.3m/s	(北北西)	5日 4時06分

(4) 波浪の状況 (10月4日0時~10月5日9時)

- ・ 台風第18号に伴う主な波浪最高値
(波浪観測値)

【国土交通省港湾局所管】

鹿児島県	名瀬港	7.2m	5日 08時20分
GPS波浪計	宮崎日向沖	6.4m	5日 07時00分
GPS波浪計	高知西部沖	6.1m	5日 09時00分

3. 国土交通省の対応

- ・ 国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める。

○災害対策用機械等出動状況 (10月5日9:00現在)

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
四国地整	高知県大豊町怒田	斜面監視 (怒田地すべり地区)	衛星通信車	1	出動準備中	10月5日~

4. 気象庁の対応

- ・ 台風第18号に関する報道等への説明を実施 (10月3日 17:30)
- ・ 台風第18号に関する記者会見を実施 (10月4日 17:15)
- ・ 気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。

5. 海上保安庁の対応

- 気象警報等に留意の上、情報収集及び地方自治体等との連絡を密にしつつ、即応態勢を維持。
- 港の条件等に応じて、台風が到達する数十時間から数時間前に、港外避難等の準備作業や実施などの勧告を順次発出しており、台風の通過時にあっては、港外避難し錨泊している船舶等に対し、走錨監視や情報提供を実施。
- 台風の通過により、航行の障害となる海上漂流物の存在、航路標識の一時的な消灯及び倒壊等を認められた場合は、必要に応じて航行警報を発出し、航行船舶に対して情報提供を実施。

6. 所管施設等の状況

○河川 (10月5日9:00現在)

- ・ 現時点で被害情報なし

○管理ダム (10月5日9:00現在)

- 【洪水貯留操作を実施中のダム なし】
- 【洪水貯留操作を実施した (現在は洪水貯留操作を終了した) ダム なし】

○土砂災害

●土砂災害発生状況 (10月5日9:00現在)

- ・ 現時点で被害情報なし

●土砂災害警戒情報の発表状況及び土砂災害に関わる避難勧告等の状況（10月5日9:00現在）

土砂災害警戒情報				避難勧告等情報						
都道府県	市町村	発表日時	解除日時	地区	避難の状況			発令日時	解除日時	備考
					避難準備 避難勧告 避難指示	対象 世帯数	対象人数			
鹿児島県	大島郡徳之島町			全域	避難準備	5,204	11,514	10月4日 15:20		

○道路（10月5日9:00現在）

【高速道路】

被災による通行止め：なし

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考

※雨量規制等による通行止めなし

【直轄国道】

被災による通行止め：なし

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考

※雨量規制等による通行止めなし

【補助国道】

被災による通行止め：なし

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考

【都道府県・政令市道】

被災による通行止め：なし

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考

【都道府県・政令市道】（0区間）

被災による通行止め：なし

10月5日 08:00

（計0区間）

【孤立情報：なし】

○鉄道関係（10月5日9:00現在）

・現時点において被害情報なし

○自動車関係（10月5日9:00現在）

・現時点において被害情報なし

○海事関係（10月5日9:00現在）

- ・所管施設等で被害情報なし。
- ・50事業者55航路で運休中。

事業者名	航路名	運航状況
酒田市	酒田～飛島	運休
東海汽船(株)	東京～八丈島	運休
神新汽船	神津島～下田	運休
商船三井フェリー	大洗～苫小牧	運休
(株)フェリーさんふらわあ	大阪～志布志	運休
防予フェリー(株)	柳井～三津浜	運休
周防大島松山フェリー(株)	柳井～伊保田～松山	運休
平郡航路(有)	平郡～柳井	運休
呉市	三角～久比	運休
南海フェリー(株)	和歌山～徳島	運休
友ヶ島汽船(株)	加太～友ヶ島	運休
宿毛フェリー(株)	宿毛～佐伯	運休
出羽島連絡事業(有)	牟岐～出羽島	運休
伊島連絡交通事業(有)	伊島～答島	運休
(有)くるしま	馬島～波止浜	運休
宇和島運輸(株)	八幡浜～別府・臼杵	運休
九四オレンジフェリー(株)	八幡浜～臼杵	運休
盛運汽船(株)	宇和島～日振	運休
宿毛市	沖の島～片島	運休
高知県	長浜～種崎	運休
マルエーフェリー(株)	鹿児島～奄美～那覇	運休
	東京～那覇	運休
マリックスライン(株)	鹿児島～那覇	運休
折田汽船(株)	鹿児島～屋久島	運休
九州商船(株)	佐世保～上五島	運休
島原鉄道(株)	島原～大牟田	運休
野母商船(株)	福江～博多	運休
コスモライン(株)	鹿児島～種子島～屋久島	運休
岩崎産業(株)	鹿児島～種子島・屋久島	運休
北九州市	藍島～小倉	運休
	若松～戸畑	運休
新宮町	相ノ島～新宮	運休
屋久島町	宮の浦～口永良部～島間	運休
甌島商船(株)	串木野～甌島	運休
福岡市	玄海島～博多	運休
	小呂島～姪浜	運休
有明海自動車航送船組合	多比良～長洲	運休
鷹島汽船(有)	阿翁～御厨	運休
瀬戸内町	与路～古仁屋	運休
	瀬相～古仁屋～生間	運休
(有)やま丸	津久見～保戸島	運休
伊平屋村	伊平屋～運天	運休
伊是名村	伊是名～運天	運休
伊江村	伊江～本部	運休

水納海運	水納～渡久地	運休
神谷観光	平敷屋～津堅	運休
久高海運	久高～安座真	運休
栗国村	泊～栗国	運休
久米商船	泊～渡名喜～久米島	運休
座間味村	泊～座間味	運休
渡嘉敷村	泊～渡嘉敷	運休
八重山観光フェリー	石垣～上原・鳩間	運休
石垣ドリーム観光	石垣～上原・鳩間	運休
安栄観光	石垣～波照間	運休
	石垣～上原・鳩間	運休

○港湾関係（海岸保全施設を含む）（10月5日9:00現在）

- ・現時点において被害情報なし

○航空関係（10月5日9:00現在）

- ・空港施設等被害情報なし
- ・5日欠航便76便（JAL20便、ANA40便、その他16便）

○物流関係（10月5日9:00現在）

- ・現時点において被害情報なし

○下水道（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○公園（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○宅地（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○公営住宅関連（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○官庁施設（10月5日9:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○観光関係（10月5日9:00現在）

- ・現時点において被害情報なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 菊地 代表：03-5253-8111 内線35-738 直通：03-5253-8461

御嶽山の噴火状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。
 ※下線部は、前回からの変更箇所。

平成26年10月5日
 15時00分 現在
 非常災害対策本部

1 火山活動の状況（気象庁情報：10月5日9:00現在）

(1) これまでの火山活動状況等

- ・9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測したため、噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。噴火は現在も継続している。
- ・御嶽山で噴火が発生したのは平成19年（2007年）3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・9月28日中部地方整備局の協力で実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂付近に北西から南東方向に伸びる火口列が見られ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく火口上1,000メートルまで上昇するのが認められ、ときおり火山灰交じりの薄灰色の噴煙が認められた。
- ・火山性微動は10月1日に入って振幅が徐々に小さくなり、10月1日19時頃からは検知できない程度の大きさになっていた。10月2日19時30分頃から再び観測されているが、振幅は徐々に小さくなっている。（10月5日9時現在）
- ・御嶽山の南東約3キロメートルに設置している傾斜計に、10月4日13時頃から、わずかな山側上がりの変化がみられ、現在も継続している。噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると、変動開始から現在までの変動の大きさは100分の1程度。
- ・10月5日3時には噴煙が火口縁上300mまで上がっていた。これ以降は視界不良のため噴煙の高さを確認することができず、10月5日9時現在、噴煙の高さは不明である。

【噴火警報の発表状況等】

○9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）

噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）

※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。

○9月27日13時35分 ~ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示

○9月27日16時 ~ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表

○9月28日19時30分 噴火警報（火口周辺警報）を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

○対象市町村等

・長野県：王滝村、木曾町

・岐阜県：高山市、下呂市

○防災上の警戒事項

・火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒が必要

・風下側では4キロメートル以遠も含めて降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要

・爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

(2) 気象の見通し

- ・御嶽山の山頂付近は、今日5日8時現在、18メートル程度の南西の風が吹いていると見られる。今日は南西の風15メートルからは20メートル程度の見込み。明日6日は南の風25メートル程度で昼前からは北の風15から20メートル程度の見込み。
- ・御嶽山周辺の天気は、今日5日は台風第18号の北上により、湿った風が流れ込むため雨となり、

屋前から激しく降る所がある見込み。明日6日は台風の接近により、屋前まで雨や風が強まる見込み。昼過ぎからは次第に晴れてくる見込み。

・明日6日朝までに予想される雨量は、多いところで120ミリの見込み。その後、7日朝までにおよそ50から100ミリの雨が降る見込み。

2 人的・住家被害の状況

(1) 人的被害

ア 死者（警察庁情報：10月5日9:30現在）

51人

心肺停止とみられる方 なし

イ 行方不明者（長野県御嶽山噴火災害対策本部情報：10月5日10:00現在）

12人

※4日に搬送された死者4名はこれまでの行方不明者と一致。

※問合せの情報等を基に集計したものであり、今後も変動することがある。

ウ 負傷者（消防庁情報：10月5日9:00現在）

69人（長野県59人（重傷27、軽傷32）、岐阜県10人（重傷2、軽傷8））

(2) 建物被害（消防庁情報：10月5日11:00現在）

確認中

3 避難等の状況

(1) 避難等の状況（警察庁調べ：10月5日7:00現在）

・9月27日15:15頃、頂上山荘約100人の登山者は下山開始との情報。御嶽神社の山小屋の46人については、下山中との情報。

・五の池小屋の残留者については、岐阜県警察山岳警備隊等の誘導により下山を開始。

・これまでに、約190人（長野県側約160人、岐阜県側30人）の下山を確認。

・山小屋等に残留していた生存者は全員下山。残留者なし。（9月28日16:20）

4 その他の状況

(1) 土砂災害（国土交通省調べ：10月5日9:00現在）

現時点で被害情報なし

(2) ライフライン

ア 電力（経済産業省調べ：9月30日8:30現在）

被害情報なし

イ ガス（経済産業省調べ：9月30日8:30現在）

被害情報なし

ウ 通信（総務省調べ：10月4日16:30現在）

・固定電話、携帯電話等

被害なし

・放送関係

被害なし

エ 水道（厚生労働省調べ：10月3日9:00現在）

【長野県】

・降灰量の多かった木曾町、大滝村及び下流の木曾地域4町村には注意を呼びかけており、各町村において施設の見回り等を実施。

【長野県木曾町】

- ・河川原水の水質検査の強化を実施。万が一異常が発見された場合は取水を一時停止し、対処する体制を整えている。
- ・水源の白濁を確認、取水を一時停止したが、木曾町自己所有の給水車2台と松本市、塩尻市、安曇野市から各1台派遣された給水車により配水池への給水を行い、断水は回避。(10月2日21:00頃)
- ・水源の水質検査を行い、安全性が確認出来たため、河川からの取水を再開。これに伴い配水池への応急給水終了。断水は行わず。(10月3日19:00頃)

(3) 道路関係 (国土交通省調べ：10月5日9:00現在)

- ・現時点で被害情報なし
- ・長野県道1路線で噴火による通行規制を実施中(9月27日14:20～)

(4) 鉄道関係 (国土交通省調べ：10月5日9:00現在)

- ・御岳ロープウェイは運転休止(9月27日12:55)。

(5) 農林水産関係 (農林水産省調べ：10月2日15:00現在)

- ・被害状況等について調査中

(6) 文教施設関係 (文部科学省調べ：9月28日20:00現在)

- ・現時点において、被害情報なし

(7) その他

(7) DMATの活動関係 (厚生労働省調べ：10月4日16:00現在)

- ・長野県がEMISを災害モードに切り替え(9月27日15:43)
- ・岐阜県がEMISを警戒モードに切り替え(9月27日18:05)
- ・岐阜県がEMISを災害モードに切り替え(9月27日22:14)
- ・岐阜県がEMISを警戒モードに切り替え(9月28日14:29)
- ・長野県から近隣5県に対しDMATの派遣要請(9月27日20:00)
- ・長野県はDPATの派遣を決定(9月28日12:41)
- ・長野県立木曾病院にDPATを1チーム派遣し、活動開始(9月28日14:40)
- ・役割を分担し、DPATは長野県立木曾病院で精神科医療的な支援を継続し、日赤こころのケア班は遺体安置所でご遺族に対する心理的なケア、保健師は待機されているご家族の方への対応、精神保健福祉センターはコーディネートを担当。
- ・長野県立こころの医療センター駒ヶ根及び日赤こころのケア班等の医療関係者が集まり、「被災者家族サポートチーム」を結成し、家族待機施設3か所を巡回し、常駐している町保健師と連携し、待機しているご家族の心身のケアに対応(10月1日～)
- ・DPATの活動を終了。また、「被災者家族サポートチーム」を縮小し、以降は家族待機施設1か所において対応。(10月3日)
- ・DMATの活動(10月1日8:00現在)
長野県側：活動終了(最大時26チーム)
岐阜県側：活動終了(最大時1チーム)

(4) 御遺体の搬送 (国土交通省調べ：10月5日9:00現在)

- ・長野県からの要請により、長野県トラック協会、全国霊柩自動車協会が御遺体の搬送のための車両を手配(9月28日から延べ50台(予定))

5 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・情報連絡室を設置(9月27日13:23)
- ・官邸連絡室へ改組(9月27日14:30)
- ・官邸対策室へ改組(9月28日14:00)

(2) 総理指示

・御嶽山の火山活動に関し、安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。(9月27日14:30)

1. 早急に被災状況の把握を行うこと
2. 被災者の救助に総力を挙げるとともに、避難誘導等登山者や住民の安全の確保に万全を期すこと
3. 火山の観測を強化し、登山者及び住民に対する迅速的確な情報提供を行うこと

(3) 非常災害対策本部の設置等

- ・御嶽山噴火に係る関係省庁担当者会議を開催(9月27日15:00)
- ・山谷内閣府特命担当大臣(防災)、松本内閣府大臣政務官出席のもと、関係省庁災害対策会議を開催し、今後の火山活動の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行った(9月27日16:40)
- ・関係閣僚会議を開催(9月27日)
- ・関係省庁関係局長級会議を開催(9月27日19:28)
- ・山谷内閣府特命担当大臣(防災)出席のもと、関係省庁災害対策会議(第2回)を開催し、阿部長野県知事、山岡名古屋大学大学院環境学研究科教授とテレビ会議を行うとともに、今後の火山活動の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行った。(9月28日13:00)
- ・西村内閣府副大臣を団長とする政府調査団を長野県に派遣(9月28日12:50)
- ・内閣危機管理監より搜索関係省庁担当局長に対し、以下の内容が通知された。(9月28日14:30)
 - 1. 被害者の迅速な救出・救命に全力を尽くすこと
 - 2. 火山活動の監視、滑落の防止等、搜索従事者の安全確保に万全を期すこと
 - 3. 危険を察知した場合には、直ちに作業を中止し、安全なところに退避すること
- ・御嶽山の噴火により多数の犠牲が生じており、なお多数の行方不明者が存在するという事態を踏まえ、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第24条第1項の規定に基づき、平成26年(2014年)御嶽山噴火非常災害対策本部を格上げ設置するとともに、長野県庁に松本内閣府大臣政務官を本部長とする非常災害現地対策本部を設置することを決定した。(9月28日17:00)
- ・山谷内閣府特命担当大臣(防災)出席のもと、第1回非常災害対策本部会議を開催し、西村内閣府副大臣による政府調査団の報告を行った。また、山岡名古屋大学大学院環境学研究科教授とテレビ会議を行うとともに、今後の火山活動の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行い、災害応急対策に関する基本方針を決定した。(9月28日19:00)

【災害応急対策に関する基本方針】

関係地方公共団体と連携を密にし、国民の生命、財産を守るため、対応に全力を尽くす。

- ① 引き続き、行方不明者の安否確認、救助に全力を尽くすこと
- ② 噴石、火山ガス、土石流発生などによる二次災害を防止し、救助活動の安全確保に万全を期すこと
- ③ 火山活動に対する徹底した監視体制を確保し、さらなる被害の拡大防止を図ること

- ・非常災害対策本部の事務の一部を行う組織として、平成26年(2014年)御嶽山噴火非常災害現地対策本部(本部長:松本内閣府大臣政務官)を設置(構成:内閣府、警察庁、消防庁、農林水産省、林野庁、国土交通省、国土地理院、気象庁、防衛省)(9月28日22:00)

【非常災害対策本部の実施状況】(第2回以降)

回	実施日時	出席者
第2回	9月29日 17:30	山谷非常災害対策本部長、松本非常災害現地対策本部長 他(※)
第3回	9月30日 17:30	山谷非常災害対策本部長、松本非常災害現地対策本部長 他(※)

第4回	10月1日	18:10	山谷非常災害対策本部長、松本非常災害現地対策本部長	他(※)
第5回	10月2日	17:30	山谷非常災害対策本部長、松本非常災害現地対策本部長	他(※)
第6回	10月3日	17:30	山谷非常災害対策本部長、松本非常災害現地対策本部長	他(※)

※山岡名古屋大学大学院環境学研究科教授とテレビ会議を実施

(4) 自衛隊の災害派遣

① 概要

- ・要請日時 平成26年9月27日14:31
- ・要請元 長野県知事
- ・要請先 陸上自衛隊第13普通科連隊長(松本)
- ・要請の概要 人命救助
- ・発生場所 長野県御嶽山

② 活動規模(10月3日16:30現在)

- ・人員 約330名
- ・車両 約90両
- ・航空機 15機
- ※ 松本駐屯地で約160名、車両約60両が待機中

③ 活動内容

- 航空偵察(映像配信)、人命救助(23名)、心肺停止者の搬送(47名)、関係機関職員の輸送(137名)
- ・山頂付近一帯の航空偵察を実施(9月27日～)
 - ・黒沢口、田の原口及び開田口の各登山口より徒歩又はヘリコプター(CH-47)で山頂付近へ移動し、到着後捜索・救助活動を実施(9月28日～)
 - ・ヘリコプター(UH-60)によるホイスト吊り上げ等により、剣ヶ峰山荘付近で6名、覚明堂付近で17名をそれぞれ救助(9月28日)
 - ・徒歩及びヘリコプター(UH-60及びCH-47)により、頂上付近の心肺停止者47名を搬送(9月28日～)
 - ・関係機関職員(警察63人、消防74人)の輸送(9月29日～)

(5) 災害救助法の適用

- ・平成26年9月27日の御嶽山噴火により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としているため。
長野県：木曾郡木曾町(きそぐんきそまち)(9月27日適用)
木曾郡王滝村(きそぐんおうたきむら)(9月27日適用)

6 各府省庁の対応

(1) 内閣府の対応

- ・情報対策室を設置(9月27日12:36)
- ・内閣府参事官を団長とする情報先遣チーム(団長以下3名)を長野県へ派遣(9月27日)

(2) 警察庁の対応

- ・災害情報連絡室設置(9月27日13:23)
- ・警備課長を長とする災害警備連絡室へ改組(9月27日14:30)
- ・警備局長を長とする災害警備本部へ改組(9月28日14:00)
- ・次長を長とする非常災害警備本部へ改組(9月28日17:00)

【警察措置】

(9月27日)

- ・長野県警がヘリにより情報収集
- ・長野県警察機動隊12人出動(9月27日13:55)
- ・長野県警察管区機動隊員約70人出動(9月27日14:17)
- ・長野県警察機動隊、管区機動隊は登山口の黒沢口、王滝口、開田口で各10人が待機

- ・岐阜県警察山岳警備隊 3 人は登山客等とともに五の池小屋に残留
- ・長野県警察は、警察本部及び木曽警察署に登山者に関する情報・相談フリーダイヤルを設置。(県警本部：0120-008-046、木曽警察署：0120-007-285)
- ・岐阜県警察は、相談ダイヤルで情報を受付。(県警本部：058-271-2424、下呂署：0576-52-0110、高山署：0577-32-0110)
- ・現地指揮所を田の原観光センターに設置。

(9月28日：12:00 現在)

- ・長野県警察は、7:40 から黒沢口より 16 人、9:56 から王滝口より 27 人が消防及び自衛隊とともに登頂を開始。(長野県警察は総勢約 160 人体制) 山頂付近で救出救助活動を実施、生存者 7 名を救助。)
- ・岐阜県警察は、4:30 から山岳警備隊等 11 人が市職員 14 人及び DMAT2 人とともに登頂、6:15 から五の池小屋の残留者の下山誘導を実施、11:19 に全員無事下山。また、総勢 80 人体制で災害警備活動を実施。
- ・岐阜県警察が、ヘリにて五の池小屋かた下山中の 40 歳女性をホイスト救助。
- ・他、詳細は既報のとおり

(9月29日)

- ・長野県警察は約 300 人体制で、岐阜県警察は約 80 人体制で、捜索及び救出救助活動を実施。
- ・他、詳細は既報のとおり

(9月30日)

- ・長野県警察は 400 人体制で、岐阜県警察は 80 人体制で、捜索及び救出活動を実施。
- ・他、詳細は既報のとおり

(10月1日)

- ・長野県警察は 600 人体制で、岐阜県警察は 100 人体制で、救出救助、捜索、検視等を実施。
- ・他、詳細は既報のとおり

(10月2日)

- ・長野県警察は約 600 人体制で、岐阜県警察は約 100 人体制で、救出救助、捜索、検視等を実施。
- ・他、詳細は既報のとおり

(10月3日)

- ・長野県警察は約 600 人体制で、岐阜県警察は約 100 人体制で、救出救助、捜索、検視等を実施。
- ・他、詳細は既報のとおり

(10月4日)

- ・長野県警察は約 600 人体制で、岐阜県警察は約 100 人体制で、救出救助、捜索、検視等を実施。
- ・長野県警察は、6:00 王滝口から管区機動隊員 27 人、黒沢口から機動隊 17 人、機動隊 11 人が徒歩にて登頂し、救出救助活動に従事予定。また、管区機動隊員 26 人が、7:11 から自衛隊ヘリで順次現場周辺に向かい、救出救助活動に従事。(金属探知機合計 67 台携行)
- ・長野県警察は、警察ヘリが 7:25 からフライトを開始、現場付近のヘリテレ映像を官邸等に送信。
- ・警視庁は、長野県警察に警察ヘリ 1 機を派遣。警察ヘリが 5:45 からフライトを開始し、現場付近のヘリテレ映像を官邸等に送信。
- ・栃木県警察は、長野県警察に警察ヘリ 1 機を派遣。警察ヘリが 9:35 からフライトを開始し、現場付近のヘリテレ映像を官邸等に送信。
- ・岐阜県警察は、機動隊員 12 人が自衛隊ヘリで現場周辺に向かい、救出救助活動に従事。(金属探知機 5 台携行。)
- ・他、詳細は既報のとおり

(10月5日)

- ・長野県警察は約 600 人体制で、岐阜県警察は約 100 人体制で、救出救助、捜索、検視等を実施予定であったところ、降雨のため、5:04 に捜索活動中止が決定。

(3) 消防庁の対応

- ・災害対策室設置（9月27日14:30）
- ・消防庁長官を長とする災害対策本部へ改組（9月28日17:00）
- ・9月27日20:30、長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣要請。ただちに消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都、山梨県の4都県に対して出動要請（9月28日20:30）
- ・緊急消防援助隊の活動調整等のため、消防庁職員1名を長野県に派遣（9月28日6:00）
- ・長野県、岐阜県に対し「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項について」を発出（10月2日21:30）

【消防機関の活動】（10月5日11:00現在）

＜＜消防機関の活動体制＞＞

- ・10月5日は、約360名体制で活動。

うち、約140名が王滝登山口等から入山し、救助活動を予定していたが、5:07、降雨のため、救助活動中止を決定。

（これまでの消防機関の活動）

	活動規模						緊急消防援助隊	合計
	長野県			岐阜県				
	木曾広域消防本部	消防団 (木曾町・王滝村)	県内応援 消防本部	下呂市消防本部	消防団 (下呂市)	県内応援 消防本部		
9月28日(日)	約60名	約10名	約100名	約10名	約10名	約10名	約210名	約410名
29日(月)	約60名	約10名	約110名	—名	—名	—名	約220名	約400名
30日(火)	約60名	約10名	約90名	—名	—名	—名	約230名	約390名
10月1日(水)	約60名	約5名	約90名	約10名	—名	約5名	約240名	約410名
2日(木)	約60名	—名	約80名	—名	—名	—名	約230名	約370名
3日(金)	約60名	—名	約80名	—名	—名	—名	約240名	約380名
4日(土)	約60名	—名	約70名	—名	—名	—名	約230名	約360名
5日(日)	約60名	—名	約70名	—名	—名	—名	約230名	約360名
延べ	約480名	約35名	約690名	約20名	約10名	約15名	約1,830名	約3,080名

（消防機関による救助・搬送患者数：10月4日まで）

	長野県	岐阜県	計
ヘリによる救助・搬送	—	2名	2名
担架による救助・搬送	56名	—	56名
救急搬送	22名	3名	25名
計	78名	5名	83名

※救助・搬送手段を併用している場合や、各部隊が共同で救助・搬送を実施している場合があり、救助数等は重複を含む。

＜＜地元消防機関の活動状況＞＞

（長野県）

- ・10月5日は、木曾広域消防本部が約60名体制で活動。

長野県防災ヘリコプター1機が松本空港に待機。

（岐阜県）

岐阜県防災ヘリコプター1機が岐阜飛行場に待機。

＜＜県内応援消防本部の活動状況＞＞

（長野県）

- ・10月5日は、県内9本部が約70名体制で活動。

＜＜緊急消防援助隊＞＞

- ・9月27日20時30分、長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣要請。
- ・ただちに消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都及び山梨県の4都県に対して、出動要請。
- ・航空体制強化のため、東京消防庁大型ヘリコプターに出動要請（9月30日）

(10月5日の活動)

- ・愛知県、静岡県、東京都及び山梨県4都県合計56隊229名体制で活動。
うち指揮支援隊として、長野県庁で東京消防庁1隊3名、王滝村役場で名古屋市消防局1隊7名が活動。

(4) 金融庁の対応

- ・災害救助法の適用決定を受け、長野県内の関係金融機関等に対し、財務省関東財務局長野財務事務所長と日本銀行松本支店長の連名で「御嶽山噴火にかかる災害に対する金融上の措置について」を发出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請(9月28日)

(5) 総務省の対応

- ・災害救助法の適用を受けた地域を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施(9/27長野県木曾郡木曾町、長野県木曾郡王滝村)
- ・ソフトバンクから携帯電話基地局(岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷)に係る空中線の指向方向変更の申請があり、臨機の措置により許可(9月30日)
- ・(独)情報通信研究機構(NICT)において、御嶽山噴火周辺地域を分解能30cmの「高分解能航空機搭載映像レーダー(Pi-SAR2)」で観測を実施。火口周辺の詳細な観測結果を火山噴火予知連絡会に提供するとともに同機構のホームページに公開(10月2日)
<http://www2.nict.go.jp/aeri/rrs/pisar2-ontake/>

(6) 財務省の対応

- ・王滝村に使用可能な未利用財産(H26.6に情報提供済)があり、改めて、村に対し利用可能である旨電話連絡済。長野県災害対策本部及び自衛隊長野地方協力本部に対し情報提供済。(9月29日)
- ・災害救助法の適用決定を踏まえ、長野県に係る被災中小企業への対応として、窓口における親身な対応、資金の円滑な融通等を要請する通知文書を、財務省・厚労省・中企庁の連名で日本政策金融公庫等に対して发出(9月29日)
- ・御嶽山噴火に係る災害を危機認定し、日本政策金融公庫から指定金融機関(日本政策投資銀行、商工組合中央金庫)を通じた危機対応融資の対象に追加、財務省、中小企業庁及び農林水産省の連名で指定金融機関に対して同内容の通知文書を发出(9月29日)

(7) 文部科学省の対応

- ・災害情報連絡室設置(9月27日16:40)
- ・関係県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請(9月27日17:50)
- ・大臣官房長を長とする文部科学省災害応急対策本部を設置(9月28日17:00)
- ・独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は陸域観測技術衛星2号「だいち2号」により、御嶽山の緊急観測を行い、取得したデータをJAXAと防災関連機関との間の災害に関する衛星情報提供協力の枠組みに基づき、火山噴火予知連絡会(事務局:気象庁)及び内閣府(防災担当)からの要請により随時提供中(9月28日~)。

(8) 農林水産省の対応

- ・中部森林管理局がヘリコプターによる現地調査を実施(9月28日)
- ・木曾町役場、王滝村役場、長野県木曾地方事務所にリエゾンを派遣(9月28日)
- ・災害救助法が適用された長野県の関係金融機関に対し、関東農政局から通帳等を紛失した預貯金者等に対する応急措置の要請通知を发出(9月29日)
- ・御嶽山の噴火に伴う降灰等による農作物被害等に対する技術指導に当たっての留意事項及び農業共済の対応について通知を发出(9月29日)
- ・中部森林管理局が噴火により発生した土石等の流出による二次災害防止対策として、治山ダムの除石工を実施(10月1日)
- ・林野庁担当官1名と森林総合研究所の山地災害の専門家2名を現地へ派遣(10月1日~2日)

(9) 厚生労働省の対応

- ・厚生労働省情報連絡室を設置（9月27日15:00）
- ・厚生労働省災害対策本部を設置（9月28日18:00）
- ・厚生労働大臣指示
 - ①関係地方自治体と連携し、状況の把握に努めること
 - ②被災者の人命救助のため、医療の提供に万全を期すこと。
- ・通知等の発出状況
 - （医療保険関係）
 - 1) 各医療保険者等及び関係機関に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料（税）・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知（9月29日）
 - 2) 被災に伴い被災者が被保険者証を保険医療機関に提示できない場合においても、受診が可能である旨を都道府県等に連絡（9月29日）
 - （被災した要介護高齢者等への対応）
 - 1) 9月27日の災害救助法の適用を受け、今般の災害により被災した世帯の要介護者の対応について、保険者に対し、特段の配慮（被災し利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができるなど）をお願いする旨通知（9月29日）
 - （被災した要援護障害者等への対応について）
 - 1) 9月27日の災害救助法の適用を受け、今般の災害により被災した世帯の要援護障害者等の対応について、長野県に対し、特段の配慮（被災し利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができるなど）をお願いする旨通知（9月29日）
 - （被災者及び家族（遺族含む）への心理的ケアの対応について）
 - 1) 各都道府県・指定都市に対し、被災者および家族への心理的ケアに関する相談について精神保健福祉センター等での対応を依頼。さらに国立精神・神経医療研究センターの災害時こころの情報支援センターにおいて支援者に対する技術的な支援等を行うことができる旨周知（10月1日）。

(10) 経済産業省の対応

- ・長野県に災害救助法が適用されたことを踏まえ、被災中小企業・小規模事業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の適用、既往債務の返済条件緩和等、小規模企業共済災害時即日貸付の適用の措置を講じた。（9月29日）

(11) 国土交通省の対応

【国土交通省本省体制】

- ・非常体制（9月27日13:45）
- ・非常災害対策本部（9月28日17:00）

【リエゾンの派遣】

- ・自治体支援（長野県、長野県王滝村、長野県木曾町、岐阜県、岐阜県高山市、岐阜県下呂市）のため最大11名派遣（9月27日～10月5日）。

【専門家の派遣】

- ・国総研、土研より砂防専門家最大3名を派遣（国総研1名：9月27～29日、10月2～3日、10月5日～）（土研1名：9月27日～10月1日、1名：9月27日～10月3日、1名：10月5日～）（噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策の検討・助言するため）

【災害対策用機械等出動状況】（10月5日9:00現在（撤収済を除く））

出動先	出動理由	機械名	台数	状況
長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中
長野県木曾郡王滝村濁川	入山規制支援	照明車	1	稼働後待機中
長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所）	降灰清掃	路面清掃車	1	待機中
長野県木曾郡王滝村八海山	入山規制支援	衛星通信車	1	稼働中
長野県木曾郡王滝村濁川	入山規制支援	Ku-SAT	1	稼働中
長野県木曾郡王滝村濁川	土石流監視	Ku-SAT	1	稼働中
名古屋大学地震火山緊急センター	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中
長野県木曾郡木曾町役場	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中

※災害対策用機械を最大16台派遣

- ・ 9月27日より照明車両5台が徒歩下山者及び自衛隊等入山の支援のため稼働
- ・ 木曽町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は4:20作業終了。

【二次災害防止対策】

- 土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手（9月28日）
- TEC-FORCEの派遣
 - ・ 救助・下山支援及び被災状況把握、応急対策実施ため、最大19名派遣（9月27日～10月5日）
- 防災ヘリコプターによる被害状況調査
 - ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施（9/27、15:20～）。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
 - ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる砂防専門家等の御嶽山上空からの降灰状況調査を実施（9月28日2回、9月29日1回、9月30日1回）。
 - ・ 関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施（9月30日1回）
- 地上における状況調査
 - ・ 地上より降灰調査を実施。UAV（無人ヘリ）を用いて立入規制区域を含めて調査を実施（9月29日）
- 関係自治体への情報提供
 - ・ 関係する県、市町村、関係機関等に、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。
 - ・ 関係自治体に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」の情報提供を実施。
 - ・ 御嶽山における降灰後の土石流に関するシミュレーション結果を実施し、とりまとめた結果を長野県、木曽町、王滝村に報告するとともに公表（10月3日）
- 今後の応急対策に資する備蓄資材（大型土のう袋等）を確保済み。

○監視カメラとワイヤーセンサーの設置状況

河川名	監視カメラ	ワイヤーセンサー	機関名
湯川	10月5日以降	10月5日以降	国土交通省
	10月2日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
白川	10月3日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
濁沢川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
冷川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
鹿ノ瀬川	10月2日 設置完了	10月4日 設置完了	国土交通省

○砂防堰堤設置

- ・ 流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コンクリートブロック積堰堤1基（4tブロック使用）を設置中（10月2日～）

【その他】

- ・ 町道鹿ノ瀬線、屋敷野線、千本松線、寒原倉越線、村道41号線について噴火による通行規制中
- ・ 気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報（ノータム）を発行（9月27日12:21）。以降、継続して発行（41通目10月5日3:26）
- ・ 防衛省と調整し、「9月28日19時05分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径5NM（約9.3km）以内、地上から11,000ft（約3,400m）までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報（ノータム）を発行（9月28日11:51に発行した航空情報を更新）（9月28日19:05）

(12) 環境省の対応

- ・ 大気汚染（二酸化硫黄や浮遊粒子状物質など）の状況について、監視を行っている長野県・岐阜県と連携を密にし確認中（現時点まで特段の影響は確認されていない）。
- ・ 水質汚濁（カドミウム、鉛、砒素、pHなど）の状況について、監視を行っている長野県・岐阜県と連携を密にし確認中（現時点まで特段の影響は確認されていない）。

(13) 気象庁の対応

- ・御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- ・噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。
- ・気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日13:55~、気象庁:9月27日15:40~)
- ・降灰の拵がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日~)
- ・火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
- ・御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)
- ・長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日~)
- ・長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(9月28日5時~ 1日2回、10月1日5時~ 1日3回)
- ・国土交通省中部地方整備局のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)
- ・陸上自衛隊のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)
- ・気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)
- ・火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し(9月28日16時)、統一見解を発表(同日19時頃)
- ・王滝大又(長野県木曾郡王滝村)に臨時雨量観測所を設置(10月3日)

(14) 国土地理院の対応

- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影を実施し、関係機関へ提供(9月28日)
- ・電子基準点のGNSS連続観測結果をホームページに公開(特段の変化は見られない)(9月29日)
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真および正射画像をホームページで公開(9月28日)
URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影および航空機SAR観測を実施(9月29、30日)
- ・9月28、29日撮影の斜め写真による3D動画をホームページで公開(9月29日)
- ・9月29、30日に観測したSAR画像から推定した火口位置とSAR画像をホームページで公開(9月30日) URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>
- ・人工衛星(だいち2号)データを用いて御嶽山の地表変化を面的に把握しホームページで公表(10月3日) URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>

台風第18号による大雨等による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成26年10月5日
15時00分現在
内閣府

1 気象状況（気象庁情報：10月5日9:00現在）

(1) 気象の概況と見通し

【概況】

- ・大型で非常に強い台風第18号は、今日（5日）8時現在、奄美大島の東の海上にあって、毎時15キロメートルで北に進んでいる。（中心気圧945hPa、中心付近の最大風速45メートル、最大瞬間風速60メートル）
- ・奄美地方の一部では猛烈な風が吹き、九州南部・奄美地方では猛烈なしけとなっている。
- ・沖縄地方と九州南部・奄美地方では大雨となっているところがある。

【見通し】

- ・台風は非常に強い勢力を保ったまま北東に向きを変え、明日（6日）にかけて、西日本や東日本にかなり接近、上陸するおそれがある。
- ・台風の北上と、本州付近に停滞する前線の影響で、明日（6日）にかけて、奄美地方と西日本から北日本の広い範囲で一時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降り、台風の最接近時には一時間に80ミリから100ミリの猛烈な雨が降るところがある見込み。明日（6日）朝までに予想される雨量は、多いところで、東海地方500ミリ、四国、近畿地方400ミリなど。その後も7日朝までに、東海地方や関東甲信地方ではおよそ200から300ミリの雨が降る見込み。
- ・明日（6日）にかけて、西日本と東日本では猛烈な風が吹き、太平洋側を中心に猛烈にしける。6日からは潮位の高い期間となり、東日本の太平洋側を中心に高潮に警戒。
- ・御嶽山周辺では、今日（5日）から明日（6日）にかけて、前線や台風の影響で、雨や風が強まる見込み。明日昼過ぎからは次第に晴れてくる見込み。

(2) 大雨等の状況（10月4日0時～10月5日8時）

主な1時間降水量 (アメダス観測値)				
沖縄県	南大東	58.0ミリ	4日16時29分まで	
沖縄県	旧東	54.5ミリ	4日16時10分まで	
沖縄県	北大東	54.0ミリ	4日17時47分まで	
鹿児島県	中種子	32.5ミリ	5日7時54分まで	
鹿児島県	種子島	27.5ミリ	5日8時00分まで	
鹿児島県	古仁屋	24.5ミリ	5日7時14分まで	
鹿児島県	屋久島	20.5ミリ	5日8時00分まで	
東京都	八丈島	19.5ミリ	4日2時26分まで	
東京都	三宅島	19.0ミリ	5日2時21分まで	
東京都	青ヶ島	18.0ミリ	5日2時17分まで	

(気象レーダー等による解析(※))

鹿児島県	屋久島町	約60ミリ	5日07時30分まで
大東島地方	南大東村	約60ミリ	4日16時30分まで
鹿児島県	奄美市	約50ミリ	5日07時00分まで
大東島地方	北大東村	約50ミリ	4日18時00分まで

※レーダー等を用いて解析された降水量(1km四方毎)の市町村内の最大値を表記。

～50ミリ：5ミリ単位
50～200ミリ：10ミリ単位
200～500ミリ：50ミリ単位
500～ミリ：100ミリ単位

・ 主な24時間降水量				
(アメダス観測値)				
沖縄県	北大東	245.5ミリ	4日23時20分まで	
沖縄県	旧東	234.0ミリ	4日23時30分まで	
沖縄県	南大東	224.5ミリ	4日23時30分まで	
東京都	青ヶ島	195.0ミリ	4日 6時50分まで	
鹿児島県	古仁屋	94.5ミリ	5日 8時00分まで	
鹿児島県	中種子	87.5ミリ	5日 8時00分まで	
東京都	三宅島	85.0ミリ	5日 8時00分まで	
東京都	八丈島	77.5ミリ	4日 8時40分まで	
秋田県	仁別	76.5ミリ	4日 2時00分まで	
東京都	三宅坪田	74.0ミリ	5日 8時00分まで	
(気象レーダー等による解析(※))				
鹿児島県	屋久島町	約500ミリ	5日08時00分まで	
鹿児島県	奄美市	約400ミリ	5日08時00分まで	
大東島地方	南大東村	約250ミリ	4日24時00分まで	
大東島地方	北大東村	約250ミリ	4日23時00分まで	
・ 主な期間降水量 (10月4日0時から5日8時までの各観測所の総降水量)				
(アメダス観測値)				
沖縄県	北大東	244.5ミリ		
沖縄県	旧東	233.0ミリ		
沖縄県	南大東	222.5ミリ		
東京都	八丈島	108.5ミリ		
東京都	八重見ヶ原	98.5ミリ		
鹿児島県	古仁屋	94.5ミリ		
鹿児島県	中種子	87.5ミリ		
東京都	三宅島	86.0ミリ		
東京都	三宅坪田	76.5ミリ		
鹿児島県	喜界島	67.0ミリ		
(気象レーダー等による解析(※))				
鹿児島県	屋久島町	約500ミリ		
鹿児島県	奄美市	約400ミリ		
鹿児島県	大和村	約250ミリ		
大東島地方	南大東村	約250ミリ		
大東島地方	北大東村	約250ミリ		

(3) 強風の状況 (10月4日0時～10月5日8時)

・ 主な風速				
鹿児島県	喜界島	29.9m/s	(北北西)	5日 4時00分
沖縄県	北大東	28.6m/s	(北北西)	4日12時39分
沖縄県	南大東	27.7m/s	(北西)	4日16時19分
鹿児島県	笠利	27.6m/s	(北)	5日 5時05分
沖縄県	旧東	25.7m/s	(北)	4日 8時03分
鹿児島県	屋久島	25.1m/s	(北北東)	5日 6時19分
鹿児島県	天城	22.3m/s	(北北西)	5日 2時09分
鹿児島県	沖永良部	22.1m/s	(北北西)	5日 0時12分
鹿児島県	名瀬	20.5m/s	(北北西)	5日 7時00分
鹿児島県	与論島	19.2m/s	(北西)	5日 4時05分

・ 主な瞬間風速					
沖縄県	北大東	45.3m/s	(北北西)	4日 14時35分	
鹿児島県	喜界島	42.2m/s	(北北西)	5日 5時45分	
沖縄県	南大東	41.2m/s	(北北西)	4日 14時37分	
沖縄県	旧東	40.6m/s	(西北西)	4日 16時03分	
鹿児島県	笠利	39.1m/s	(北)	5日 2時45分	
鹿児島県	尾之間	37.2m/s	(北東)	5日 7時45分	
鹿児島県	名瀬	35.2m/s	(北北西)	5日 6時46分	
鹿児島県	屋久島	34.0m/s	(北北東)	5日 7時37分	
鹿児島県	中之島	30.9m/s	(東北東)	5日 7時38分	
鹿児島県	天城	30.3m/s	(北北西)	5日 4時06分	

(4) 波浪の状況 (10月4日0時～10月5日9時)

・ 台風第18号に伴う主な波浪最高値 (波浪観測値)					
【国土交通省港湾局所管】					
鹿児島県	名瀬港	7.2m	5日 08時20分		
GPS波浪計	宮崎日向沖	6.4m	5日 07時00分		
GPS波浪計	高知西部沖	6.1m	5日 09時00分		

2 人的・住家被害の状況 (消防庁情報：13:00現在)

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者 人	行方不明者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	公共建物 棟	その他 棟
			重傷 人	軽傷 人							
沖縄県				1			1				1
合計	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1

3 避難状況 (消防庁情報：13:00現在)

都道府県名	市区町村名	避難指示				避難勧告			
		対象世帯数	対象人数	指示日時	解除日時	対象世帯数	対象人数	勧告日時	解除日時
東京都	神津島村					121	322	10月5日 11時25分	
	小計(発令中)	0	0			121	322		
	小計	0	0			121	322		
	合計(発令中)	0	0			121	322		
	合計	0	0			121	322		

4 その他の状況

- (1) 土砂災害 (国土交通省調べ：10月5日9:00現在)
現時点で被害情報なし
- (2) 道路関係 (国土交通省調べ：10月5日9:00現在)
・ 現時点で被災等による通行止めなし

5 政府の主な対応

- (1) 官邸の対応
・ 情報連絡室を設置 (10月4日16:42)
- (2) 関係省庁災害警戒会議の開催等
・ 山谷内閣府特命担当大臣(防災)、西村内閣府副大臣出席のもと、平成26年(2014年)御嶽山噴火非常災害対策本部第6回本部会議との合同により、台風第18号に係る関係省庁災害警戒会議を開催し、今後の気象の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行った (10月3日17:30)

6 各府省庁の対応

(1) 内閣府の対応

- ・情報連絡室を設置（10月3日 17:30）

(2) 消防庁の対応

- ・災害対策室設置（10月5日 12:00）
- ・全都道府県に対し、「台風第18号等による大雨について」の大雨警戒情報を発出（10月3日 18:00）

(3) 海上保安庁の対応

- ・気象警報等に留意の上、情報収集及び地方自治体等との連絡を密にしつつ、即応態勢を維持。
- ・港の条件等に応じて、台風が到達する数十時間から数時間前に、港外避難等の準備作業や実施などの勧告を順次発出しており、台風の通過時にあっては、港外避難し錨泊している船舶等に対し、走錨監視や情報提供を実施。
- ・台風の通過により、航行の障害となる海上漂流物の存在、航路標識の一時的な消灯及び倒壊等を認めた場合は、必要に応じて航行警報を発出し、航行船舶に対して情報提供を実施。

(4) 国土交通省の対応

- ・国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める。
- ・災害対策機械等の出動状況（10月5日 9:00 現在）

機械名	台数（出動準備中）
衛星通信車	1（1）

(5) 気象庁の対応

- ・台風第18号に関する報道等への説明を実施（10月3日 17:30）
- ・台風第18号に関する記者会見を実施（10月4日 17:15）
- ・気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。